ITツールの活用

オープンデータの種別とRESASの使い方

オープンデータとは？

1-1. データの種類

■ データの分類

データには、データの情報源による分類方法もある。

■ オープンデータ

誰でも自由に利用することができるデータのこと。

主に国や地方公共団体あるいは企業といった民間団体が原則無料で提供しており、営利目的での利用も認められている。公的機関でしか得られないようなデータを公開し、一般に利用できるようにすることで、新たな価値を創出し、社会課題の解決や、経済の活性化に繋げる効果がある。

■ クローズドデータ（シンジゲートデータ）

オープンデータに対し、限られた人にのみ公開されているデータのこと。

契約した企業間や組織内部のみで蓄積、管理、利用される。例として、取引先情報のデータや、財務状況のデータなどが挙げられる。

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 身近なオープンデータ

誰もが自由にアクセスし、利用、再配布、加工することができるデータであるオープンデータのうち、身近なものには以下のようなものがある。

次ページ以降、代表的なオープンデータの提供サイトを紹介する。

それぞれのサイトを実際に確認すれば、どのようなオープンデータがどのような形で提供されているのかに触れてみることができる。

気象データ：気象庁などが提供

地図データ：各地方自治体や国土地理院などが提供

統計データ：国や各地方自治体、様々な民間団体などが提供

1-2. オープンデータに触れてみよう

e-Stat（政府統計の総合窓口）

各府省が公表する各種統計データをまとめた政府統計のポータルサイトで、統計調査の各種情報をワンストップで提供することを目指し、2008年から運用されている。

様々な種類の膨大なデータがあるが、例えば職種別の平均年収、人口ピラミッド、人口密度分布といった統計データにアクセスすることができる。

https://www.e-stat.go.jp/

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ e-Govデータポータル

デジタル庁が整備、運営するWebサイトで、各行政機関等がオープンデータとして提供している公共データ、行政データに関するカタログが整備されており、データを有効活用できるように総合的な検索・案内サービスが提供されている。

https://data.e-gov.go.jp/info/ja

1-2. オープンデータに触れてみよう

RESAS（地域経済分析システム Regional Economy Society Analyzing System）

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供するウェブサイトで、地域経済の構造データ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）のオープンデータを、地図やグラフでわかりやすく可視化した形で表示できるサイト。

地域のデータ分析の「入り口」として、初心者でも簡単に使えるシステムとなっており、地方公共団体職員や、地域の地方創生の担い手の方々によって、効果的な施策の立案や経営判断などに広く利用されている。

https://resas.go.jp/#/13/13101

1-2. オープンデータに触れてみよう

RAIDA

デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォーム（RAIDA：レイダ）もRESAS同様、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供するウェブサイトで、データにより地域課題を捉え、分析・考察することをサポートし、施策目標の達成を後押しするプラットフォームである。
「感染症回復：旅行」、「物価高騰・円安」、「デジタル実装」の３テーマに沿ったオープンデータが提供されており、例えば「感染症回復：旅行」のテーマでは、新型コロナウイルス感染症流行後の経済回復状況を理解し、観光需要を刺激する施策効果の検証を行うため、各都道府県の旅行・観光の消費実態を把握することができる。

https://raida.go.jp

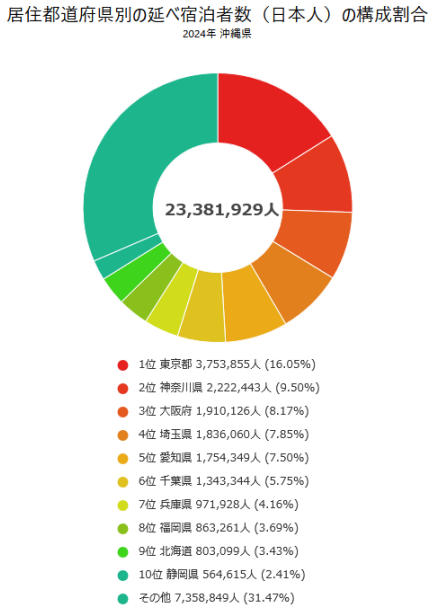
1-2. オープンデータに触れてみよう

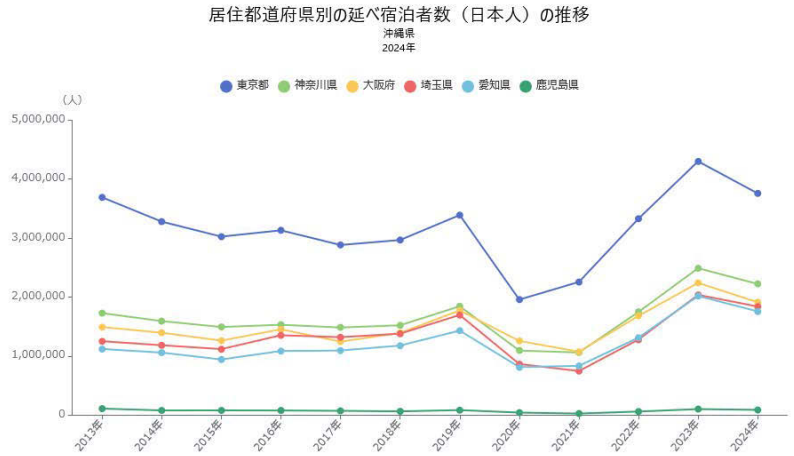
■ 演習

代表的なオープンデータの提供サイトアクセスし、様々なオープンデータを可視化してみる。

RESASを利用して地域の分析に取り組み

・「観光マップ」で沖縄に宿泊している観光客の種別を確認する







1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 演習準備



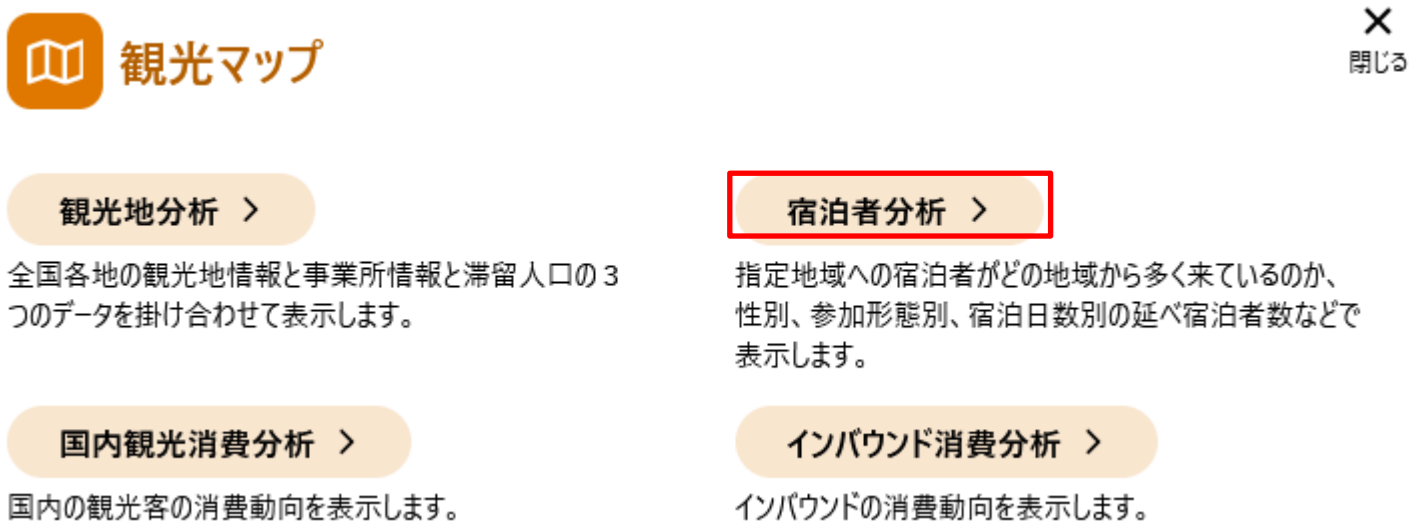
1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「消費マップ」で出荷された商品がどの地域に運ばれているかを確認する

1． RESASのトップページにあるアイコンから

「マーケティング」→「生産・消費地分析」へ進む





1-2. オープンデータに触れてみよう

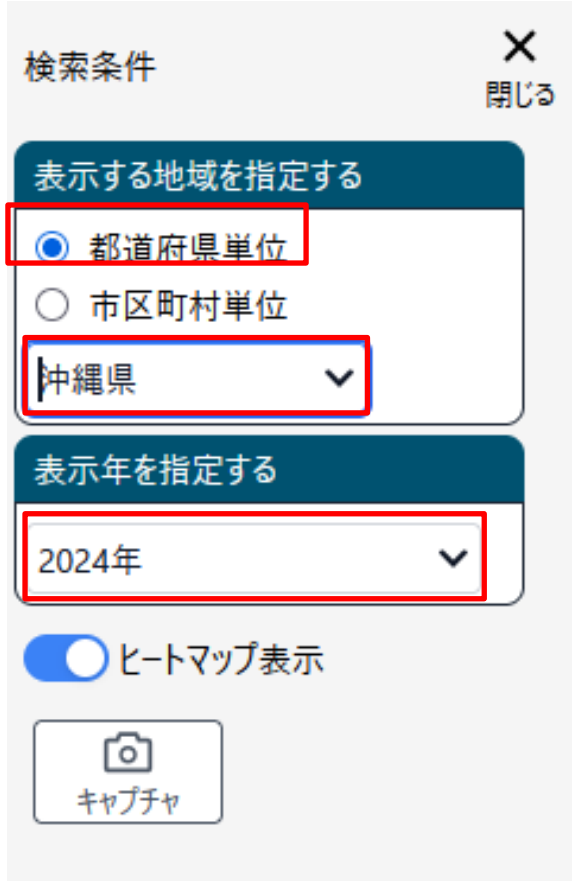
■ 「消費マップ」で出荷された商品がどの地域に運ばれているかを確認する

２．　日本地図のページが表示されたら、
　　左側にある検索条件に対して

「都道府県名」⇒沖縄県

「表示年月日を指定する」⇒2024年

と指定



指定後、画面上部にあるタブを「ヒートマップ」から

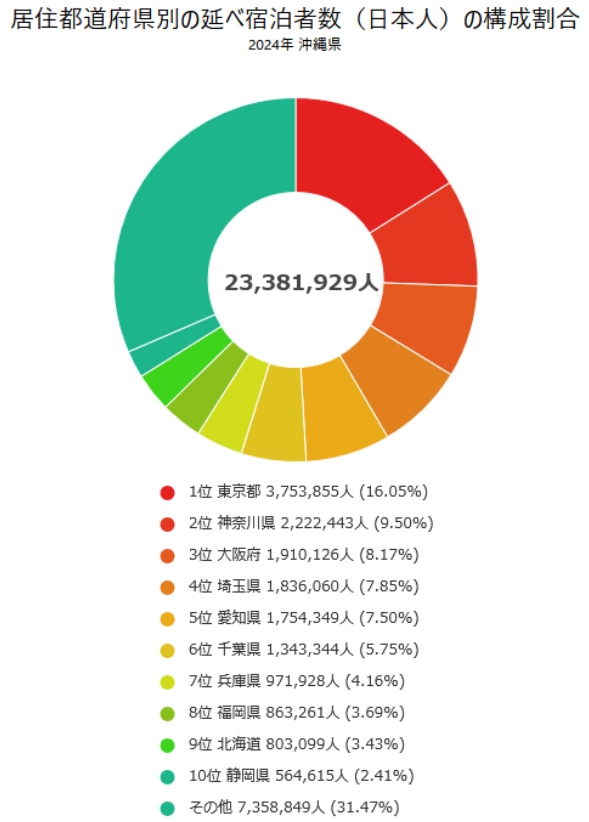
「居住都道府県別に見る」に変更する

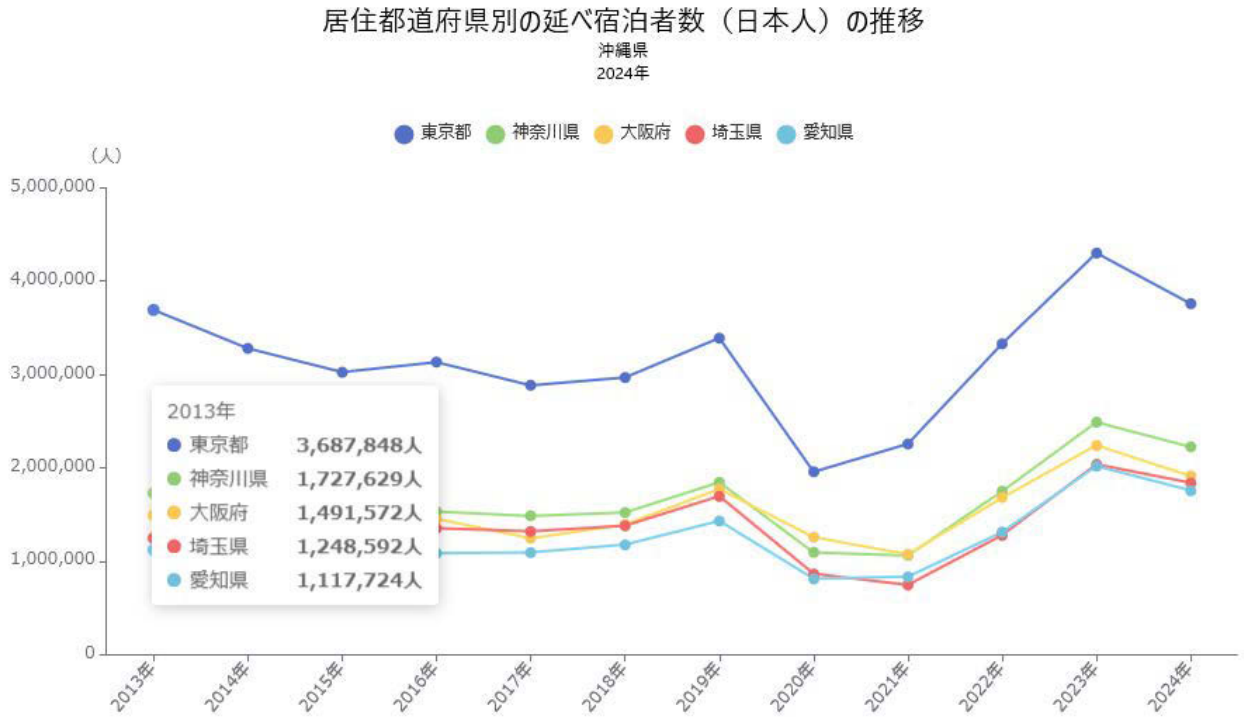


1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「消費マップ」で出荷された商品がどの地域に運ばれているかを確認する

3． 画面中央に円グラフと折れ線グラフが表示されることを確認する





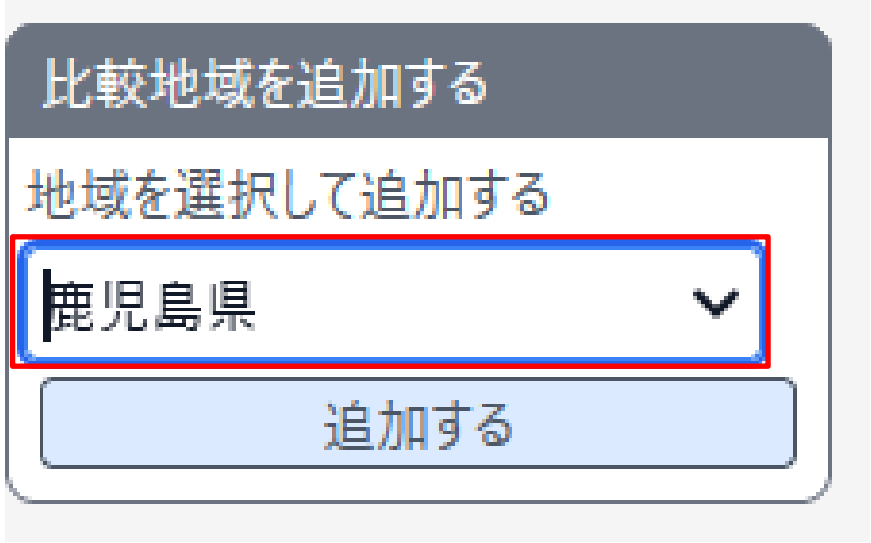
1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 特定の県の情報をグラフで表示する

1．現在、上位県しか表示されておらず特定の県の情報を知ることが出来ないため、

この状態から特定の県の情報を知るためにグラフを加工していく

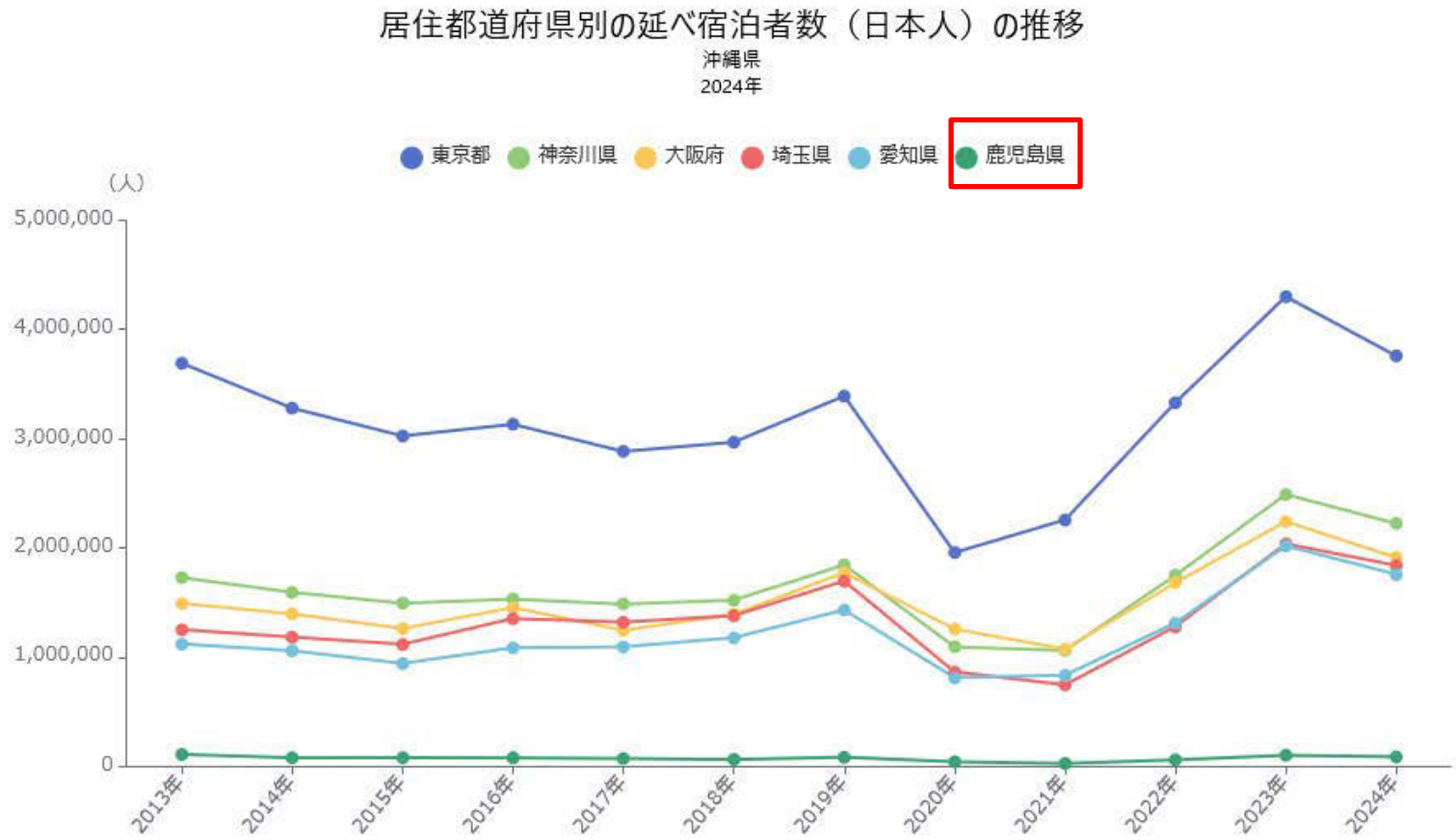
「比較地域を追加する」から、鹿児島県を選択し、下にある追加ボタンをクリックする



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 特定の県の情報をグラフで表示する

2．鹿児島県の情報が追加されていることを確認する

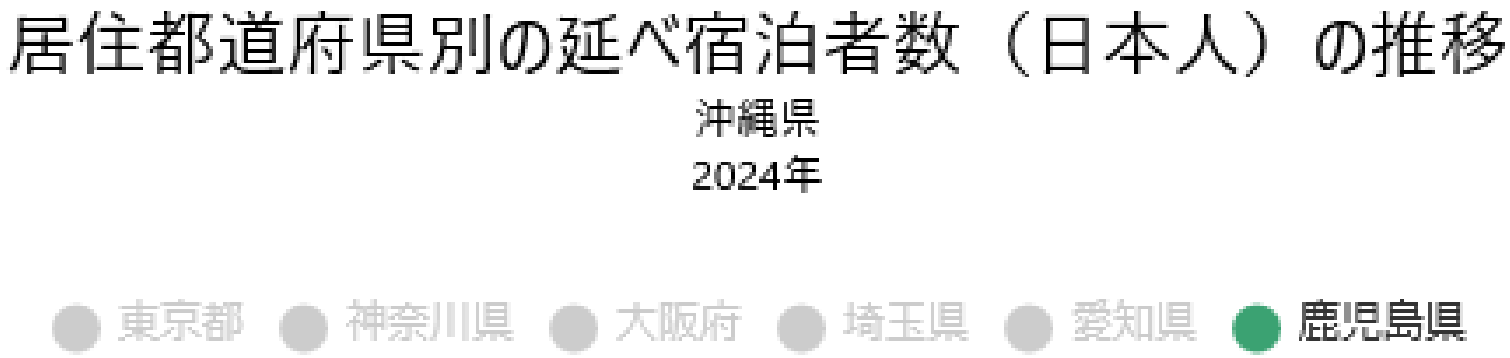


1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 特定の県の情報をグラフで表示する

3．鹿児島県のグラフは横一直線で見づらいため、調整していく

折れ線グラフにある上位５県をクリックし、グラフ線を削除する



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 特定の県の情報をグラフで表示する

4．鹿児島県のみの情報がグラフに表示されていることを確認する

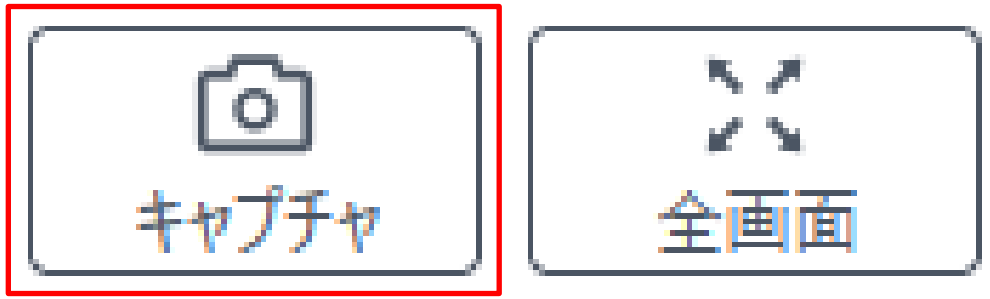


1-2. オープンデータに触れてみよう

■ その他の使用方法(データ保存)

スクリーンショットでも使用可だが、グラフ右上にあるキャプチャボタンを使用すれば画像として保存が可能

演習等で使用の可能性があるグラフは都度保存しておくことを強く勧める



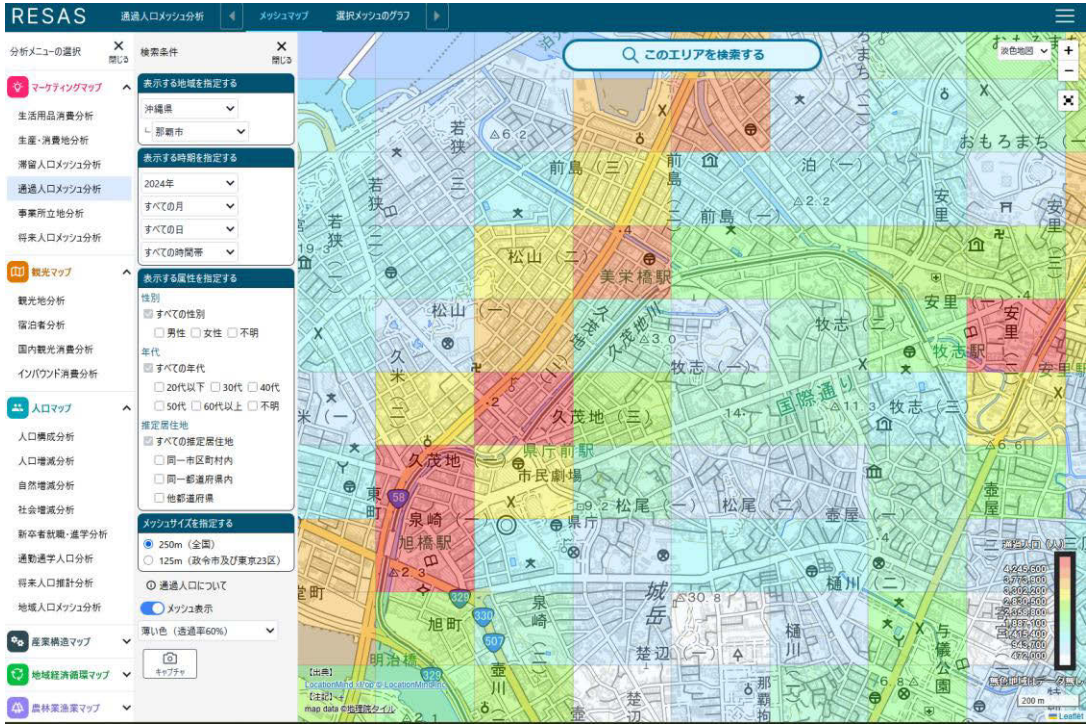
1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 演習のつづき（目安10～15分）

RESASを使って、いろいろなオープンデータにアクセスしてみる

どのようなデータがあるか？

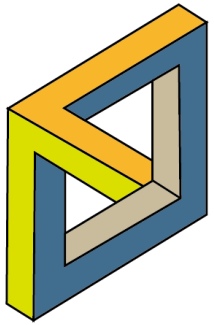
どのような図表で表示できるか？



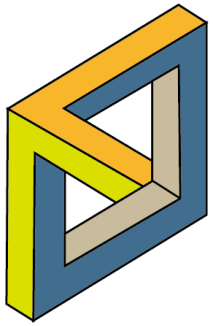


ITツールの活用

e-statの使い方



e-stat



1-2. オープンデータに触れてみよう(再掲)

e-Stat（政府統計の総合窓口）

各府省が公表する各種統計データをまとめた政府統計のポータルサイトで、統計調査の各種情報をワンストップで提供することを目指し、2008年から運用されている。

様々な種類の膨大なデータがあるが、例えば職種別の平均年収、人口ピラミッド、人口密度分布といった統計データにアクセスすることができる。

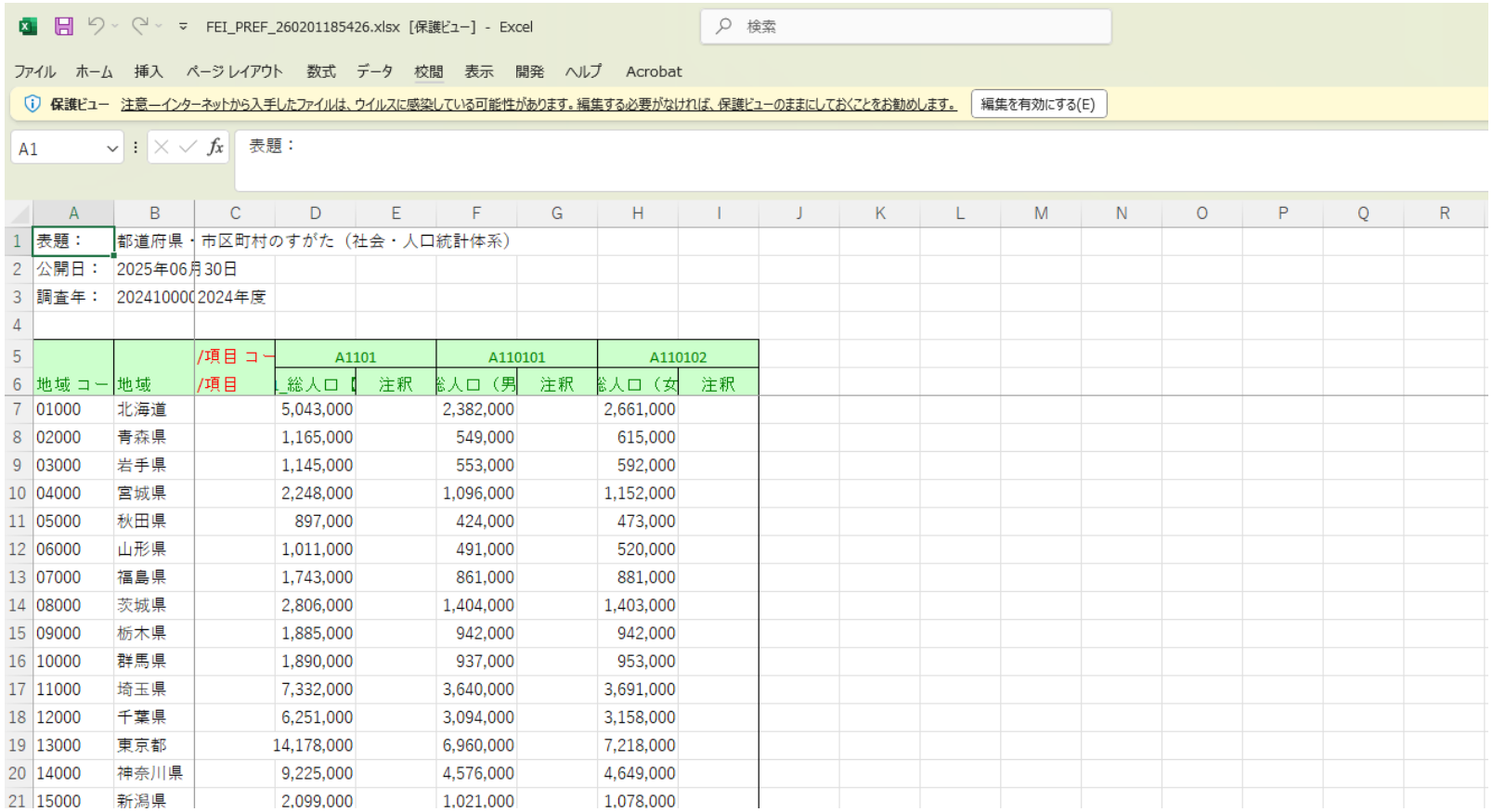
https://www.e-stat.go.jp/

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 演習

代表的なオープンデータの提供サイトアクセスし、様々なオープンデータを可視化してみる。

E-statを使用し、都道府県別の総人口と男女それぞれの人口が記載されたエクセルデータを準備する



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	表題：	都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）							
2	公開日：	2025年06月30日							
3	調査年：	2024100002024年度							
4									
5			/項目 コー	A1101		A110101		A110102	
6	地域 コー	地域	/項目	総人口	注釈	総人口（男	注釈	総人口（女	注釈
7	01000	北海道		5,043,000		2,382,000		2,661,000	
8	02000	青森県		1,165,000		549,000		615,000	
9	03000	岩手県		1,145,000		553,000		592,000	
10	04000	宮城県		2,248,000		1,096,000		1,152,000	
11	05000	秋田県		897,000		424,000		473,000	
12	06000	山形県		1,011,000		491,000		520,000	
13	07000	福島県		1,743,000		861,000		881,000	
14	08000	茨城県		2,806,000		1,404,000		1,403,000	
15	09000	栃木県		1,885,000		942,000		942,000	
16	10000	群馬県		1,890,000		937,000		953,000	
17	11000	埼玉県		7,332,000		3,640,000		3,691,000	
18	12000	千葉県		6,251,000		3,094,000		3,158,000	
19	13000	東京都		14,178,000		6,960,000		7,218,000	
20	14000	神奈川県		9,225,000		4,576,000		4,649,000	
21	15000	新潟県		2,099,000		1,021,000		1,078,000	

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

1．e-statへアクセスし、地域を選択

その後、「データ表示」を選択



「地域」をクリック



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

以下の画面が表示されていることを確認する



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

2．すべて選択を押してから、「0000_全国」の地域のみ「地域を削除」を押し確定を押す





1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

3．分野「A　人口・世帯」から

・A1101 総人口（人）

・A110101　総人口（男）（人）

・A110102　総人口（女）（人）

を選択し、

右の画像の通りになっていることを

確認し、確定を押す



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

４．表示されているデータを取得するために、ダウンロードを押す



1-2. オープンデータに触れてみよう

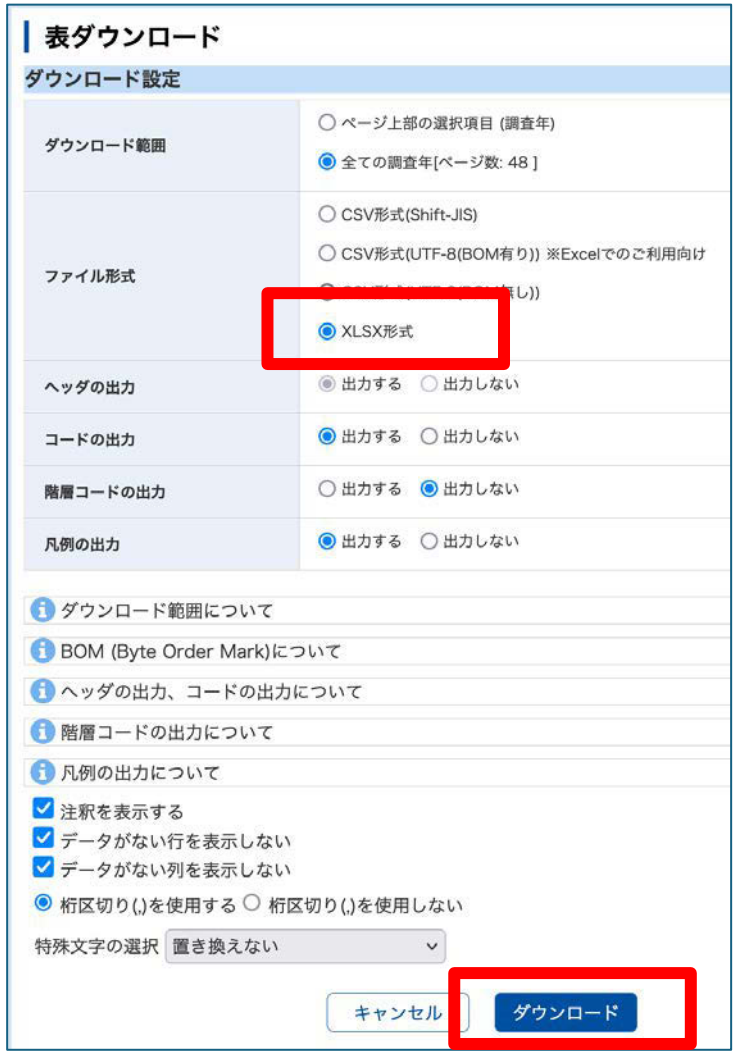
■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

５．DLに向けたポップアップが表示されるので、

ファイル形式：XLSX形式(Excelの拡張子)

を選択し、ダウンロードを押す

※画面が切り替わるまで時間が掛かります。



1-2. オープンデータに触れてみよう

- 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

5．ダウンロードを押す

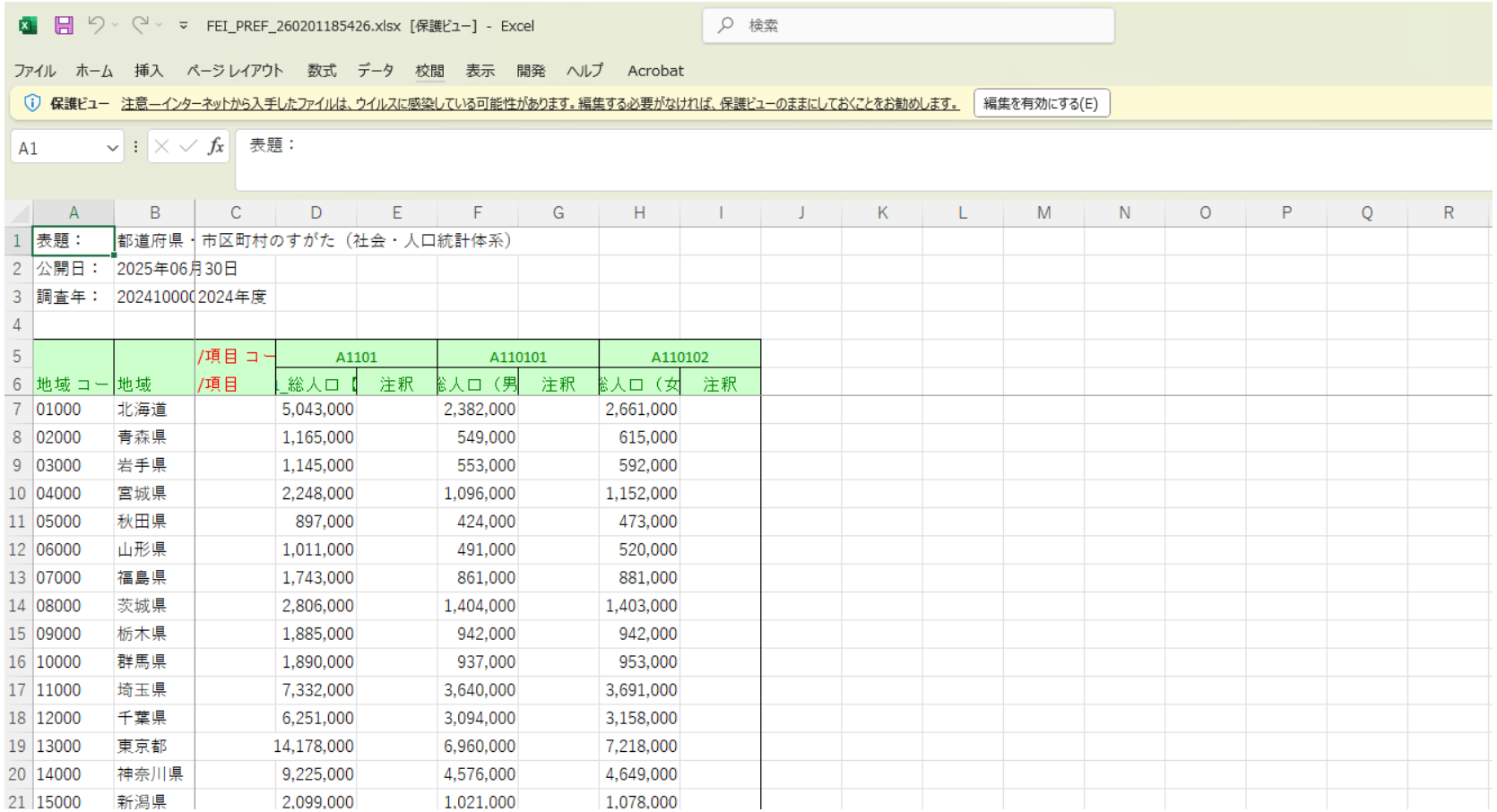


1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 「都道府県別男女情報」が記載されたExcelデータ保存までの流れを確認する

6．端末にDLしたデータがあるので、開くと以下のような見た目のExcelが開かれることを確認する

※年度が違う場合があるため、数値がまったく同じでなくてもOK



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	表題：	都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）							
2	公開日：	2025年06月30日							
3	調査年：	2024100002024年度							
4									
5			/項目 コー	A1101		A110101		A110102	
6	地域 コー	地域	/項目	総人口	注釈	総人口（男	注釈	総人口（女	注釈
7	01000	北海道		5,043,000		2,382,000		2,661,000	
8	02000	青森県		1,165,000		549,000		615,000	
9	03000	岩手県		1,145,000		553,000		592,000	
10	04000	宮城県		2,248,000		1,096,000		1,152,000	
11	05000	秋田県		897,000		424,000		473,000	
12	06000	山形県		1,011,000		491,000		520,000	
13	07000	福島県		1,743,000		861,000		881,000	
14	08000	茨城県		2,806,000		1,404,000		1,403,000	
15	09000	栃木県		1,885,000		942,000		942,000	
16	10000	群馬県		1,890,000		937,000		953,000	
17	11000	埼玉県		7,332,000		3,640,000		3,691,000	
18	12000	千葉県		6,251,000		3,094,000		3,158,000	
19	13000	東京都		14,178,000		6,960,000		7,218,000	
20	14000	神奈川県		9,225,000		4,576,000		4,649,000	
21	15000	新潟県		2,099,000		1,021,000		1,078,000	

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

e-statには分野別も見ることが出来ます。

運輸・観光から観光向けのデータを見ていきましょう





1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

1．TOPページに戻り、分野を押し、17統計分野から運輸・観光を探しすべてを見るを押す





1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

２．「航空旅客動態調査」を探し、詳細を押す



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

３．「航空旅客動態調査」の詳細が表示される

統計データの箇所を押す

※「統計調査計画」は別資料になるので注意！

航空旅客動態調査

政府統計コード	00600800
概要	航空旅客動態調査は、統計法に基づく一般統計調査であり、国内線航空旅客の流動特性を把握することを目的として、調査日（調査年の１０月及び１１月の平日・休日各１日）に国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用するすべての旅客を対象に実施しています。本調査は、流動パターン、旅行目的、空港のアクセス・イグレス等を調査し、出発空港別、ＯＤペア（純流動）別等の集計結果を提供しています。
統計分野（大分類）	運輸・観光
統計分野（小分類）	運輸
統計の種類	一般統計
ホームページURL	
担当機関名	国土交通省
課室	
メールアドレス	
電話番号	

- 各統計調査の詳細については、上記の担当機関のホームページを参照してください。
- 各機関のホームページには該当する政府統計の「調査概要」「調査結果」「利用上の注意」「公表予定」「お問い合わせ先」等の情報が掲載されております。統計表をご利用になる際にはご活用ください。

統計調査計画

航空旅客動態調査の統計調査計画の一覧です。調査計画、軽微変更や点検・評価結果については以下のリンクから統計調査計画のページをご参照ください。

統計調査計画名	承認年月日	掲載年月
航空旅客動態調査	2025-08-25	2025-09

統計データ　航空旅客動態調査の統計データはこちらからご参照ください。

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

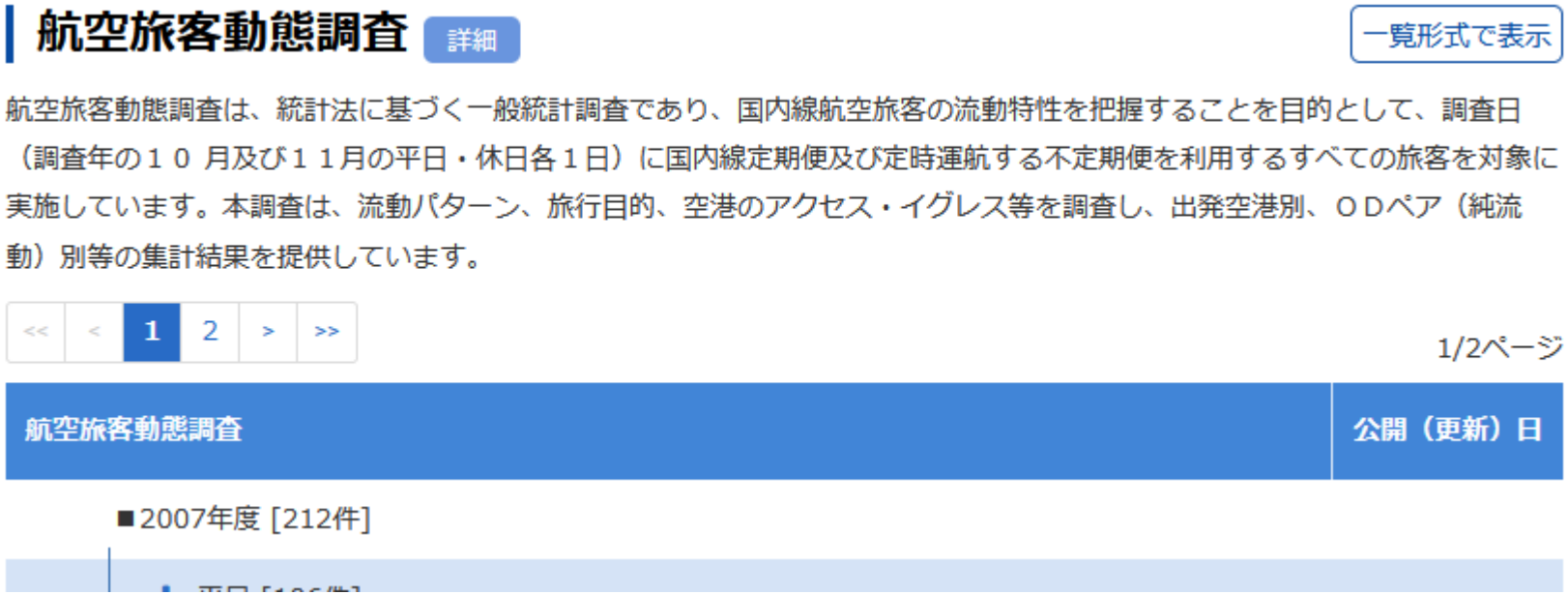
４．ファイルを選択する



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

５．以下の画面が表示されていることを確認する



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

５．年度が古い順に並んでいるので、最新版の「2023年度」を探し、

「集計結果（平日）」を押す



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

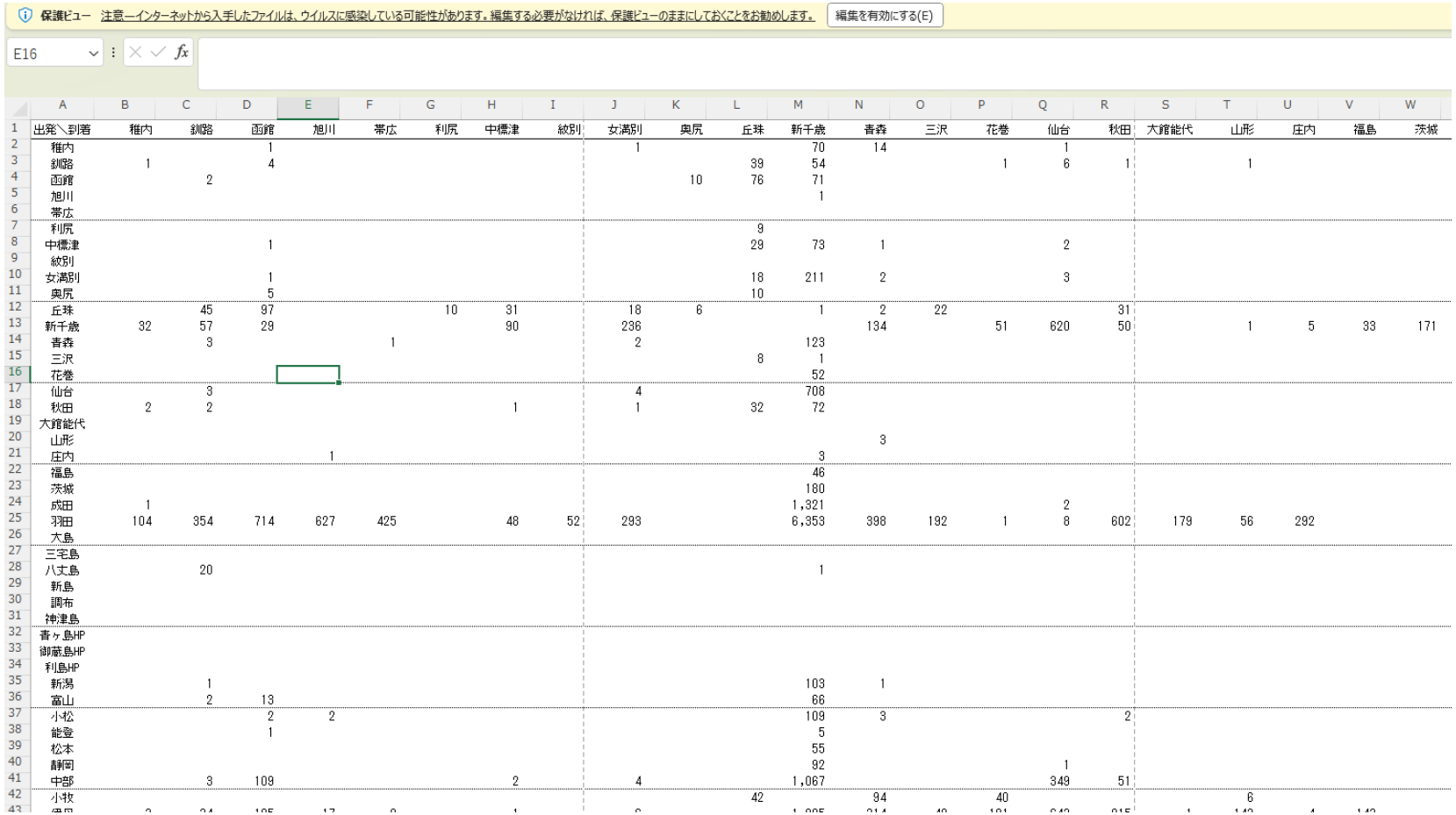
6．Excel閲覧用を押し、DLする



1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 観光系のデータを取得する

7．平日航空移動をしている人がどの空港からどこに移動しているかの表が見られることを確認する



保護ビュー　注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がなければ、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。　編集を有効にする(E)

E16

出発＼到着	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	利尻	中標津	紋別	女満別	奥尻	丘珠	新千歳	青森	三沢	花巻	仙台	秋田	大館能代	山形	庄内	福島	茨城
稚内			1						1			70	14			1						
釧路	1		4								39	54			1	6	1		1			
函館		2								10	76	71										
旭川												1										
帯広																						
利尻											9											
中標津			1								29	73	1			2						
紋別																						
女満別			1								18	211	2			3						
奥尻			5								10											
丘珠		45	97			10	31		18	6		1	2	22			31					
新千歳	32	57	29				90		236				134		51	620	50		1	5	33	171
青森		3			1				2			123										
三沢											8	1										
花巻												52										
仙台		3							4			708										
秋田	2	2					1		1		32	72										
大館能代																						
山形													3									
庄内				1								3										
福島												46										
茨城												180										
成田	1											1,321				2						
羽田	104	354	714	627	425		48	52	293			6,353	398	192	1	8	602	179	56	292		
大島																						
三宅島																						
八丈島		20										1										
新島																						
調布																						
神津島																						
青ヶ島HP																						
御蔵島HP																						
利島HP																						
新潟		1										103	1									
富山		2	13									66										
小松			2	2								109	3				2					
能登			1									5										
松本												55										
静岡												92				1						
中部		3	109				2		4			1,067				349	51					
小牧											42		94		40				6			

1-2. オープンデータに触れてみよう

■ 演習のつづき（目安10～15分）

e-statを使って、いろいろなオープンデータにアクセスしてみる

・どのようなデータがあるか？

・Excel形式でDLが可能か？

第１表月（12区分）、施設所在地(47区分及び運輸局等)、従業者数(4区分)、宿泊目的割合(2区分)別施設数並びに月（12区分）、

施設所在地(47区分及び運	総数	従業者数(4区分 観光目的の宿泊者が50%以上	従業者数(4区 観光目的の宿泊者が50%未満	0～9人 計	0～9人 観光目的の宿泊者が50%以上	0～9人 観光目的の宿泊者が50%未満	10～29人 計	10～29人 観光目的の宿泊者が50%以上	10～29人 観光目的の宿泊者が50%未満	30～99人 計	30～99人 観光目的の宿泊者が50%以上
	施設	施設	施設	施設	施設	施設	施設	施設	施設	施設	施設
施設所在地計	68,037	39,910	15,070	54,219	32,220	9,500	8,186	4,190	3,620	4,555	2,740
北海道	4,742	2,050	1,330	3,910	1,630	940	477	190	270	278	170
青森県	522	220	250	368	160	150	92	30	60	58	30
岩手県	643	350	270	451	260	170	113	50	60	73	40
宮城県	739	360	300	497	260	170	139	60	80	80	30
秋田県	543	340	160	373	240	100	112	70	50	53	30
山形県	759	520	180	547	390	110	134	90	40	69	40
福島県	1,588	920	520	1,257	740	380	214	110	110	94	60
茨城県	800	270	320	546	200	190	152	40	80	94	30
栃木県	1,470	1,020	270	1,138	800	170	195	130	60	123	80
群馬県	1,476	800	210	1,200	650	140	169	90	60	94	60
埼玉県	394	180	170	239	140	50	89	20	70	58	20
千葉県	2,055	1,240	530	1,588	960	360	265	150	100	152	80
東京都	4,244	1,930	1,300	3,145	1,500	680	650	230	380	311	120
神奈川県	1,830	1,120	480	1,305	830	260	295	150	130	177	110
新潟県	1,792	1,180	370	1,460	970	250	201	130	80	111	80
富山県	418	260	100	303	200	60	61	30	20	46	30
石川県	1,013	650	240	772	490	170	126	80	40	98	80
福井県	860	460	240	731	390	200	75	50	30	49	30
山梨県	1,817	1,300	160	1,591	1,130	110	133	90	40	79	70
長野県	4,688	3,700	460	4,047	3,220	320	420	310	100	198	150
岐阜県	1,201	720	220	980	570	160	132	80	40	74	50
静岡県	2,786	1,880	480	2,100	1,470	240	383	190	170	252	180
愛知県	981	420	450	559	260	190	259	90	160	130	50
三重県	1,068	670	290	815	530	190	135	60	70	97	70

表3－1　業種（8区分），資本金階級（11区分），経営組織（4区分）別
売上（収入）金額及び費用

（百万円）

業種及び資本金階級	個人 売上(収入)金額	個人 費用総額	会社 売上(収入)金額	会社 費用総額	会社 仕入・材料費	会社 外注費	会社 販売手数料	会社 広告宣伝費	会社 従業員教育費
総数	8,945,265	7,059,202	75,379,096	69,680,320	33,978,824	1,594,984	831,219	736,409	166,395
会社	－	－	75,379,096	69,680,320	33,978,824	1,594,984	831,219	736,409	166,395
300万円未満	－	－	717,606	673,225	410,970	11,368	11,345	5,081	2,482
300万円～500万円未満	－	－	5,425,635	4,933,331	2,791,822	49,880	87,615	37,507	10,970
500万円～1,000万円未満	－	－	2,927,488	2,719,185	1,489,014	56,910	39,858	18,673	5,594
1,000万円～3,000万円未満	－	－	13,527,816	12,646,967	6,858,571	308,094	172,898	122,594	43,657
3,000万円～5,000万円未満	－	－	5,539,258	5,262,062	3,098,093	133,994	68,888	44,854	5,738
5,000万円～1億円未満	－	－	7,576,739	7,082,327	3,596,667	159,443	125,234	53,653	25,969
1億円～3億円未満	－	－	6,038,738	5,481,208	2,785,827	148,824	60,363	80,377	26,372
3億円～10億円未満	－	－	3,592,342	3,383,363	1,986,416	113,983	27,446	35,814	3,314
10億円～50億円未満	－	－	6,955,017	6,386,933	3,105,124	298,534	84,986	126,920	11,884
50億円以上	－	－	14,208,373	13,142,582	6,600,259	229,555	106,897	187,320	22,538
(再掲)1,000万円以下	－	－	17,641,291	16,346,387	9,137,661	287,493	255,424	146,077	52,140
(再掲)5,000万円以下	－	－	31,034,582	28,980,821	15,939,285	623,102	422,645	247,347	69,542
(再掲)1億円以下	－	－	39,326,193	36,624,357	19,699,294	783,312	546,737	334,693	112,280
(再掲)3億円以下	－	－	42,203,085	39,213,935	21,270,800	872,417	573,222	367,861	121,453
不詳	－	－	8,870,084	7,969,139	1,256,061	84,398	45,689	23,615	7,876
個人，会社以外の法人，外国の会社，その他	8,945,265	7,059,202	－	－	－	－	－	－	－
宿泊サービス	154,269	123,325	4,213,115	3,940,669	739,121	236,346	176,056	48,937	14,944
会社	－	－	4,213,115	3,940,669	739,121	236,346	176,056	48,937	14,944
300万円未満	－	－	51,549	46,316	10,288	2,341	2,596	516	29
300万円～500万円未満	－	－	191,247	174,078	37,644	7,772	5,307	3,362	797
500万円～1,000万円未満	－	－	177,786	177,152	34,983	10,055	6,920	2,163	231
1,000万円～3,000万円未満	－	－	905,063	847,141	181,660	51,913	40,413	12,589	5,315
3,000万円～5,000万円未満	－	－	413,278	380,151	94,450	23,120	26,009	5,444	217
5,000万円～1億円未満	－	－	691,654	659,367	148,660	42,018	45,126	9,025	4,974
1億円～3億円未満	－	－	451,848	421,774	89,962	28,001	20,651	6,139	493
3億円～10億円未満	－	－	209,142	205,508	51,538	15,304	6,031	2,760	61
10億円～50億円未満	－	－	277,624	239,792	37,754	18,701	16,689	3,539	105
50億円以上	－	－	105,377	111,778	18,881	8,140	2,317	1,411	2,554
(再掲)1,000万円以下	－	－	996,609	928,793	203,300	45,345	44,593	14,382	6,043
(再掲)5,000万円以下	－	－	2,068,621	1,938,624	418,335	119,738	104,139	28,297	6,773
(再掲)1億円以下	－	－	2,812,444	2,639,057	589,394	161,206	144,281	38,327	11,958
(再掲)3億円以下	－	－	2,882,432	2,704,986	597,655	165,220	147,022	39,238	12,066
不詳	－	－	737,949	678,612	33,301	28,981	3,998	1,988	168
個人，会社以外の法人，外国の会社，その他	154,269	123,325	－	－	－	－	－	－	－
飲食サービス	3,286,444	2,445,350	10,099,345	8,626,597	2,941,448	99,542	99,400	87,813	63,091
会社	－	－	10,099,345	8,626,597	2,941,448	99,542	99,400	87,813	63,091
300万円未満	－	－	146,619	129,678	51,425	1,041	1,124	1,463	1,286
300万円～500万円未満	－	－	1,691,305	1,462,604	622,615	8,985	15,626	12,821	4,693
500万円～1,000万円未満	－	－	750,918	626,871	281,655	2,558	11,627	6,536	944
1,000万円～3,000万円未満	－	－	2,188,207	1,925,761	752,599	28,440	28,046	28,456	16,810

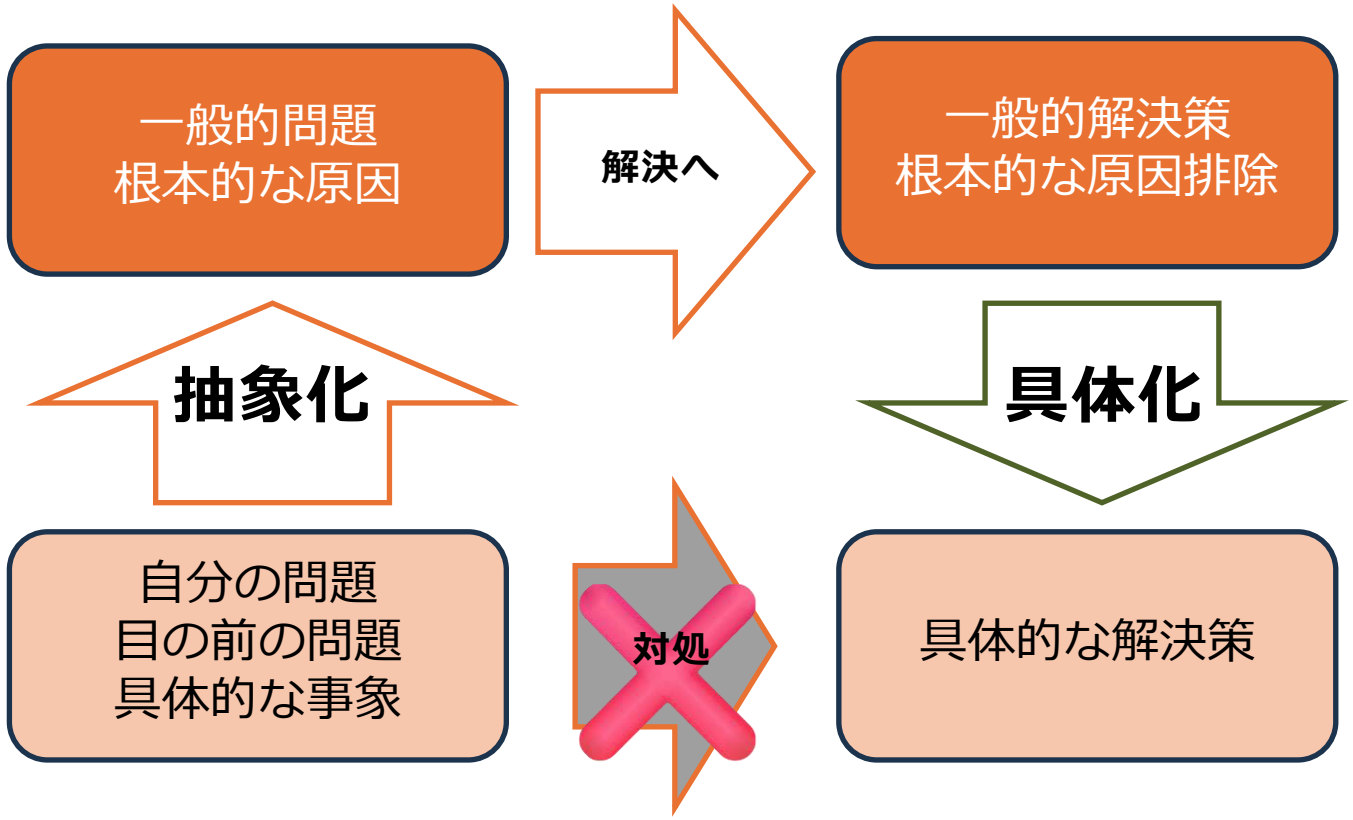
1 ページ

課題解決の基本プロセス①

課題解決の定義～問題の洗い出し

問題への”対処”と”解決”

目前の問題だけへの対処から、抽象化し視座を上げての課題解決へ



課題と問題

課題解決＝理想と現実のギャップを解消すること

問題＝現状の困りごと　→ 部屋が暗い

理想＝あるべき状態　→ 物が見える

原因＝問題を起こしている理由　→ 電球切れ

課題＝問題を解決する具体的行動方針　→ 新しい電球

解決策＝どうやって取り組むか

→ 買ってくる？借りてくる？もらう？

課題解決の基本プロセス

問題の発見	現状どのような問題があるか洗い出す
問題の選択	どの問題から取り組むかを選ぶ
問題の理解	現状や理想を整理し、その問題について理解する
課題設定	範囲や抽象度なども明確にし、課題を定義する
解決策の立案	解決策の可能性を探る（拡散思考）
解決策の選択	どの解決策を採用するかを選ぶ（収束思考）
実行と評価	実際に解決策を試し、有用性を確認する

今回のテーマについて

グループで1つの「課題解決チーム」となります。

このテーマの授業が終わるまで1つの問題に取り組みます。

本日のテーマ

現状の困りごと（学業でもプライベートでも学校の問題でも）

①どのような問題があるか洗い出していきます。

②その問題を分析し理解して、課題を設定します。

③その課題を解決する方法を考えます。

ブレインストーミング

アイデアを出すための最も一般的な方法です。

ブレインストーミングのルール

①質より量（思いついたら、どんどん書く）

②議論しない・否定しない（ダメなアイデアはない）

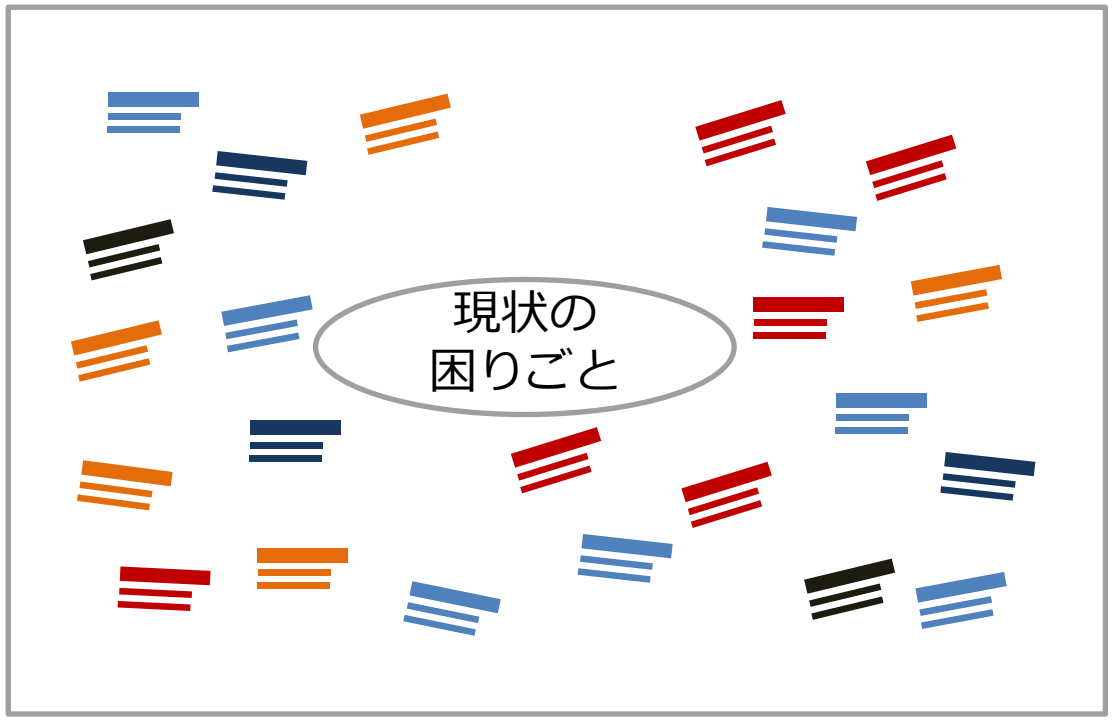
③書いたら言う・言ったら書く（全員ペンを持つ）

④便乗大歓迎（他の人のアイデアを活かす）



問題の洗い出し

ブレインストーミングで
現状の「困りごと」と感じるものを出してください。
不満・不足と感じるものであれば、何でもよいです。





課題解決の基本プロセス②

問題の選択～課題設定

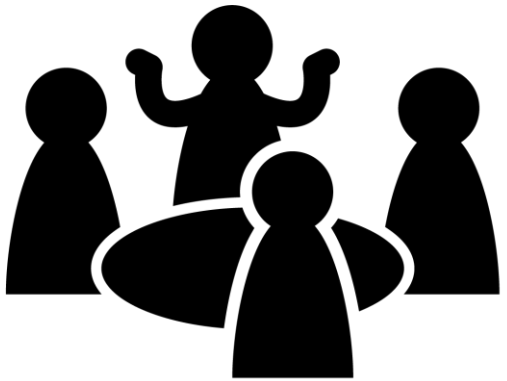
問題の選択

ブレインストーミングで出した問題のうち
どれについて考えるかを決めていきます（全体で1つに絞ります）。

まずは、グループで以下の視点ごとに2票ずつ（合計6票／人）
投票してみましょう。

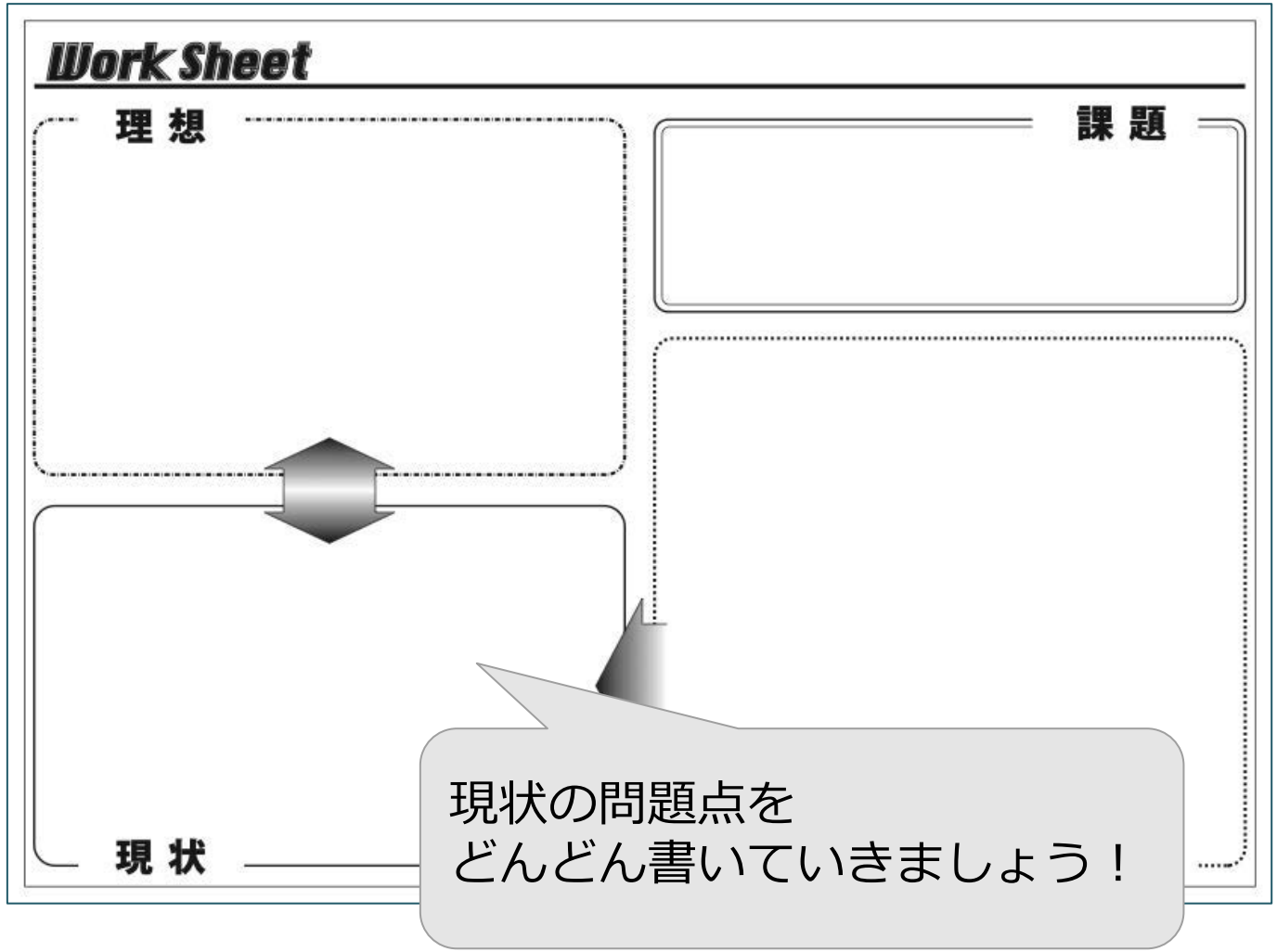
意義が大きいと思う　⇨ ○
解決できる見込みが高そう　⇨ ＃
興味がある　⇨ ☆

※記号はグループ内で統一されていれば何でもよいです。



問題の理解と課題設定

選んだ問題を整理して、課題設定していきます。

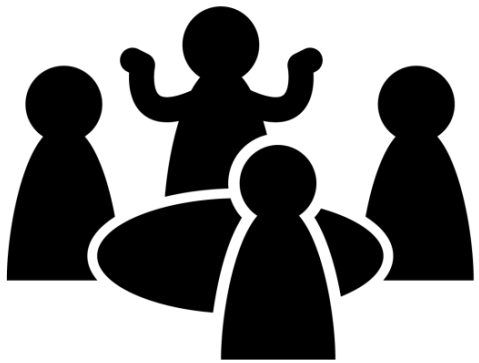


まとまっていなくて大丈夫

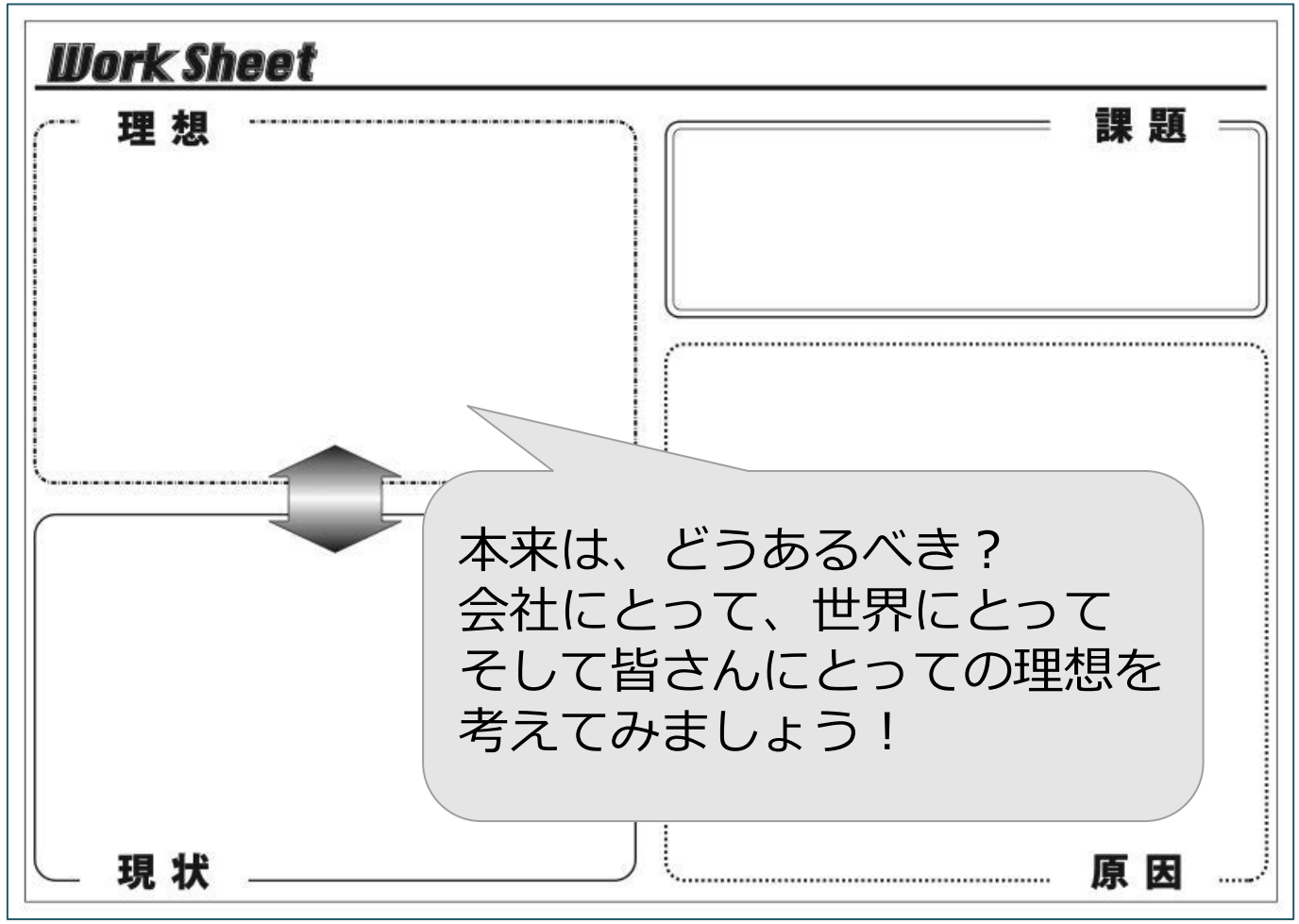
結論は必要なし

誰かの個人的な意見でもよし

話しているうちに
思いついたことも書きましょう！



問題の理解と課題設定



まとまっていなくて大丈夫

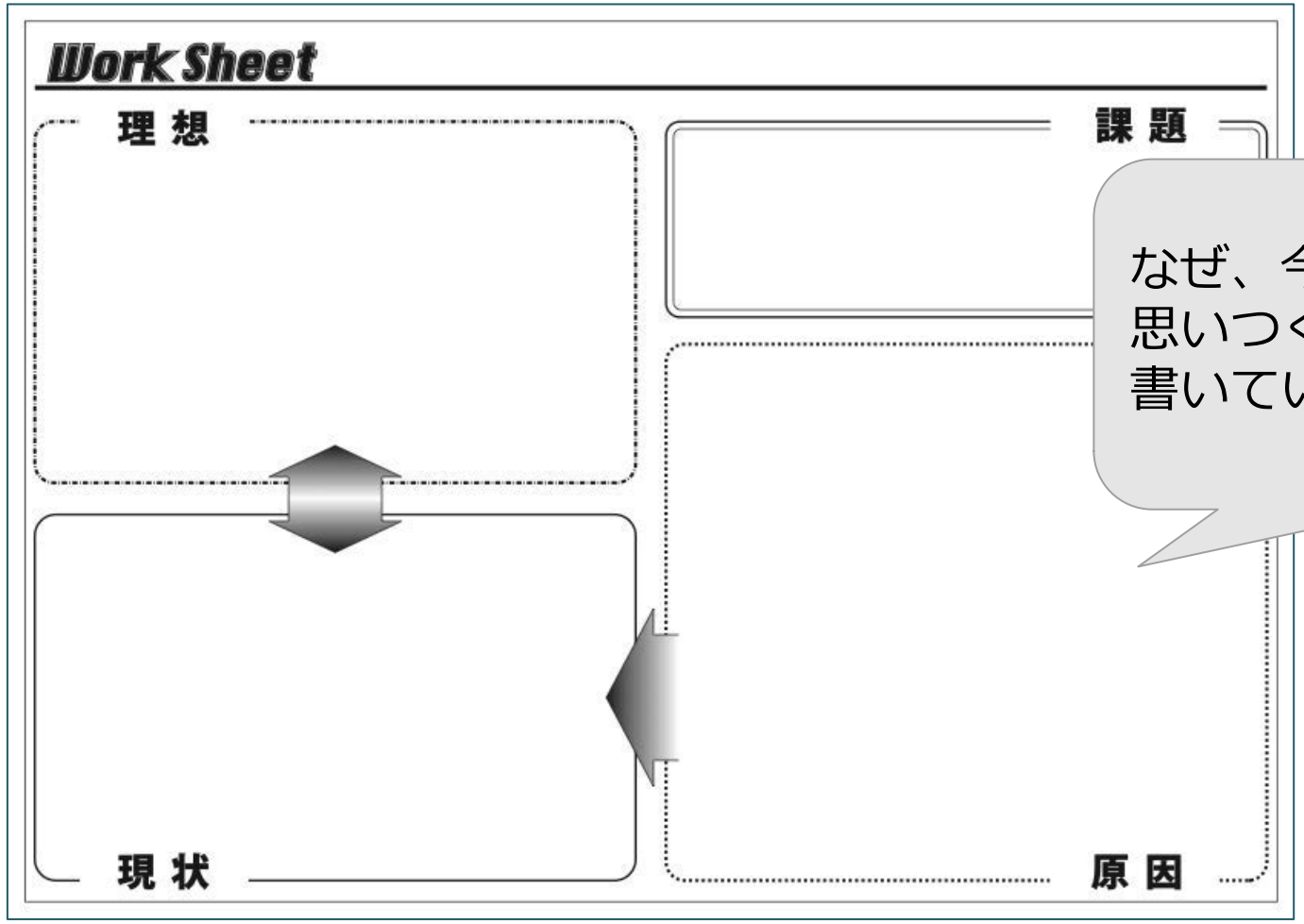
結論は必要なし

誰かの個人的な意見でもよし

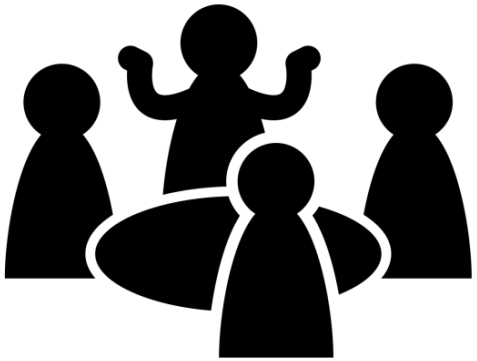
話しているうちに
思いついたことも書きましょう！



問題の理解と課題設定



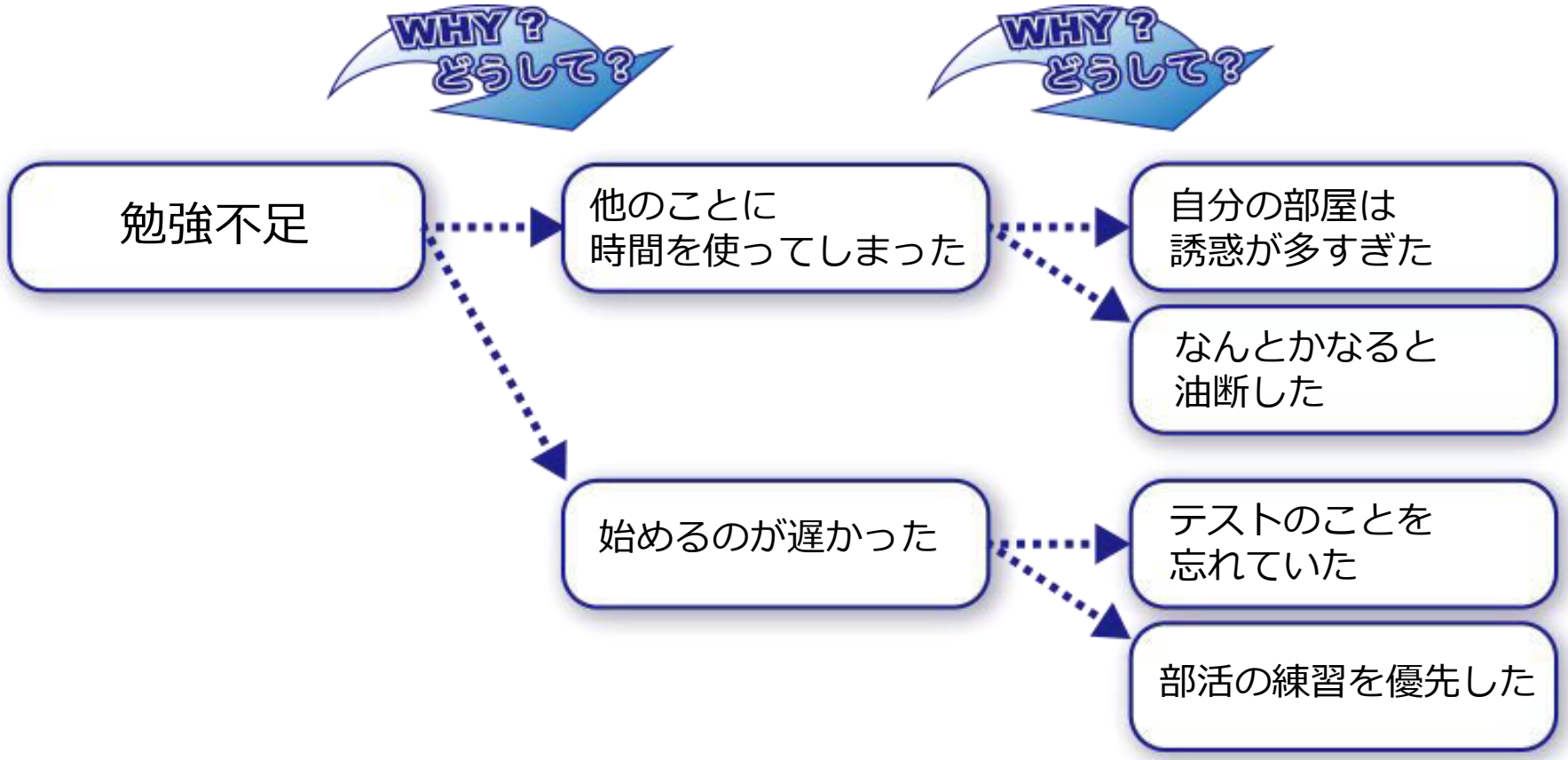
なぜ、今の現状なんだろう？
思いつく限りの原因を
書いていきましょう！



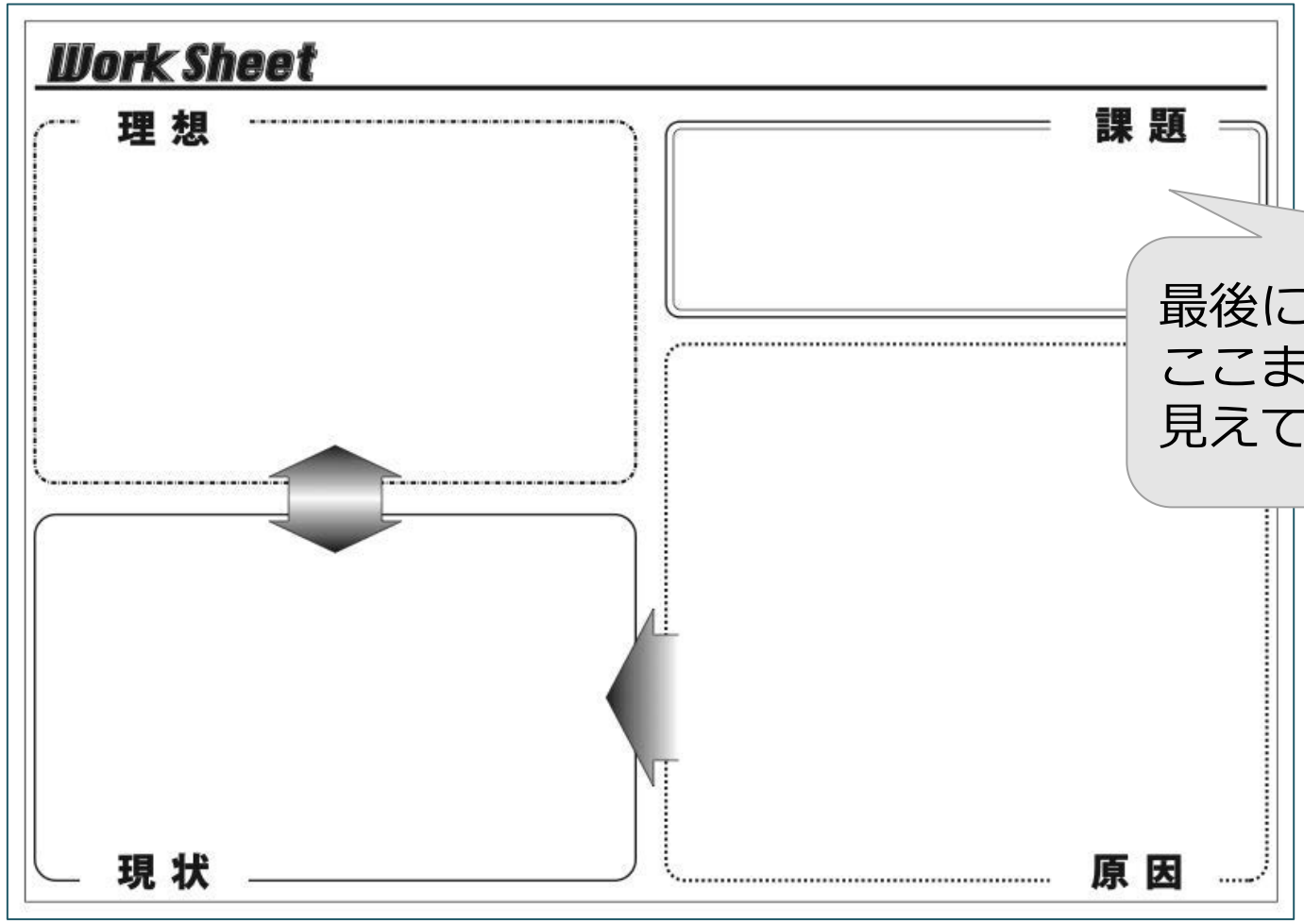
【補足】原因の原因

余裕があるグループは、原因のさらに原因も考えてみましょう！

例えば、「テストの点が悪かったのは、勉強不足だから」では終わらずに…



問題の理解と課題設定



最後に
ここまで考えたことで
見えて来た課題を書きましょう



課題＝問題を解消する具体的行動方針

課題の"大きさ"調整

いくつかの候補の「課題の大きさ」を調整してみて

ちょうど良いものは何か考えてみましょう。

例

世界の食糧問題の解決　→　大きすぎるな…
自分がフードロスを出さない　→　小さすぎるな…

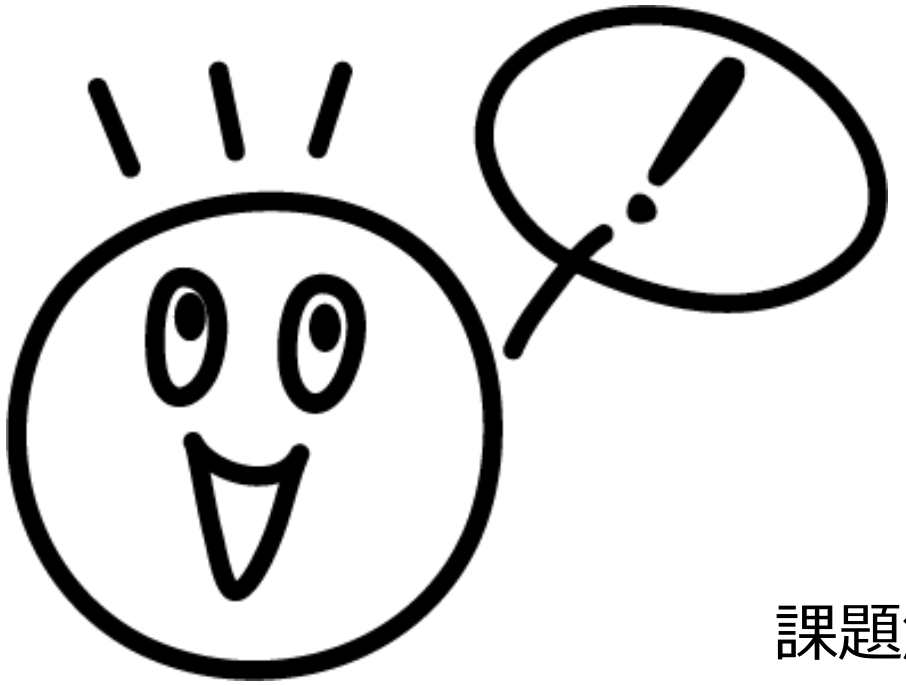
飲食店でフードロスを減らすための仕入れ量をサポート　→　ちょうど良さそう



課題解決の基本プロセス③

解決策の立案～解決策の選択

可能性の検討（拡散思考）



課題解決のためには良いアイデアが必要です。

良いアイデアを出すために誰でも出来ること

それは、アイデアをたくさん出すことです！

ブレインライティング

グループでたくさんのアイデアを書き出していく方法です。

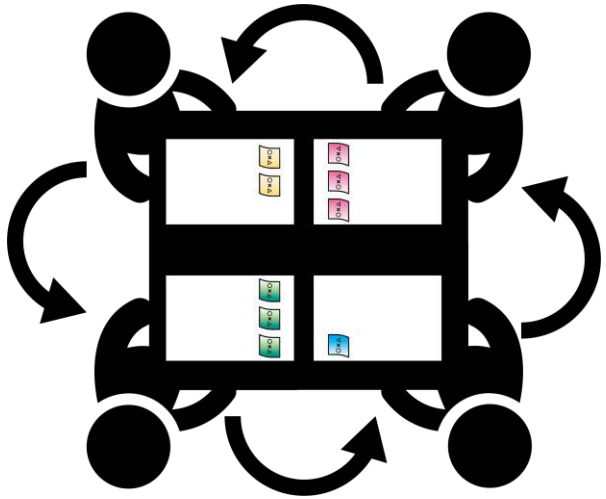
１．ブレインライティング台紙と付箋紙が配布されます。

２．テーマに沿ったアイデアを付箋紙に書き出し、書き終わった付箋紙を
ワークシートに貼り付けていきます。

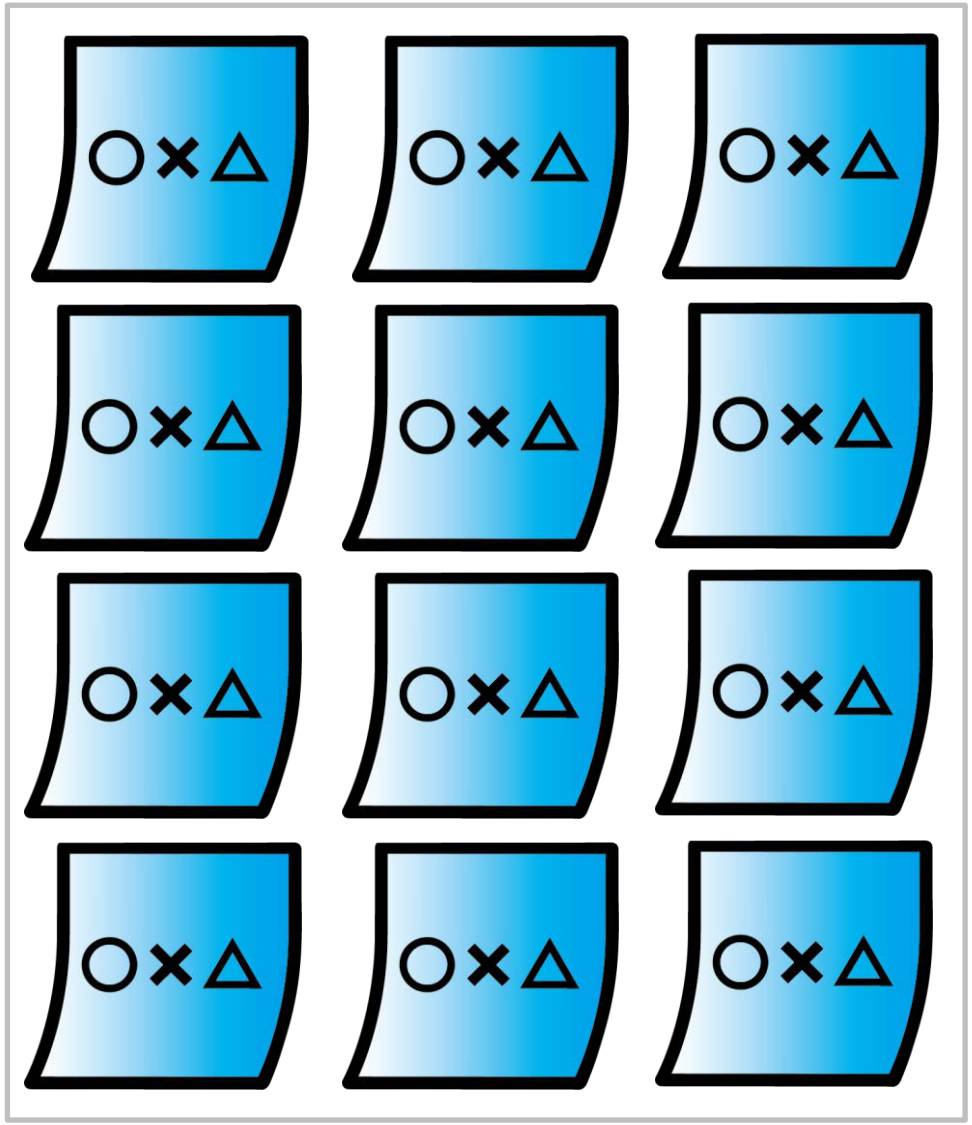
３．一定時間経過後、ワークシートを隣のメンバーに渡します。

４．隣から渡されたワークシートに貼られたアイデアを読む（参考にしてもしなくても良い）

→2・3・4を台紙が一巡する（または時間いっぱいまで）繰り返す



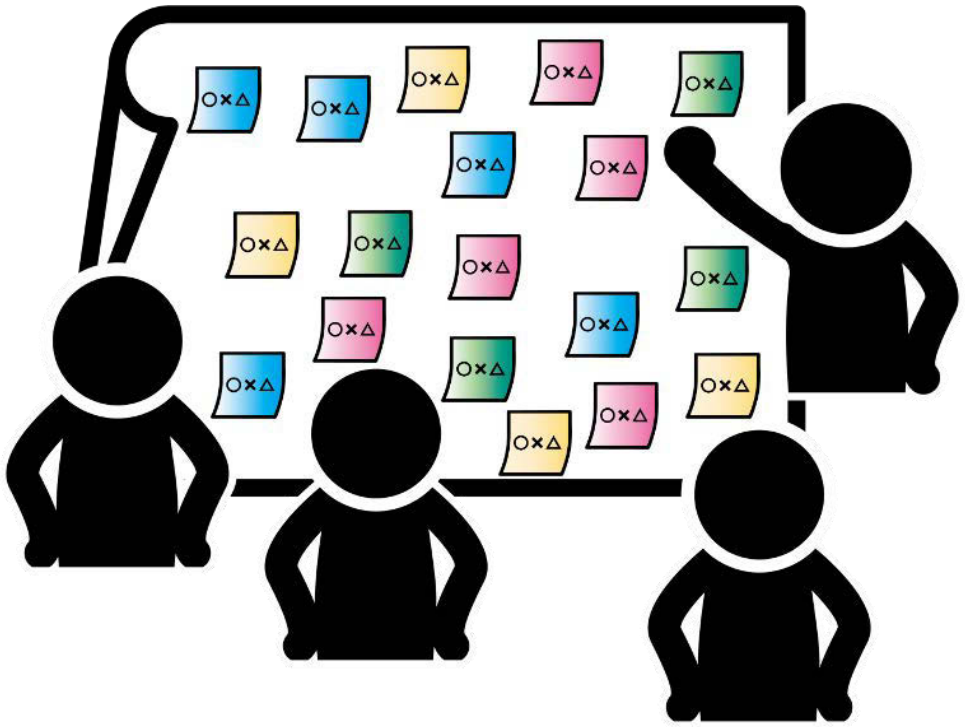
ブレインライティング



投影のみ

ブレインストーミングへ

出されたアイデアを貼り出していこう。



整理や分類は、今はしなくてよいです。
貼りながら思いついたアイデアが
あれば、足してください。

他の人のアイデアに質問があったら
その場で質問しましょう。

全体を眺めながら、
思いついたことを加えていってください。

他のアイデアを利用してもいいですし、
利用しなくても構いません。

アイデアの評価（収束思考）

アイデアを出すだけでは、解決にはなりません。

解決のためには、実行が必要です。

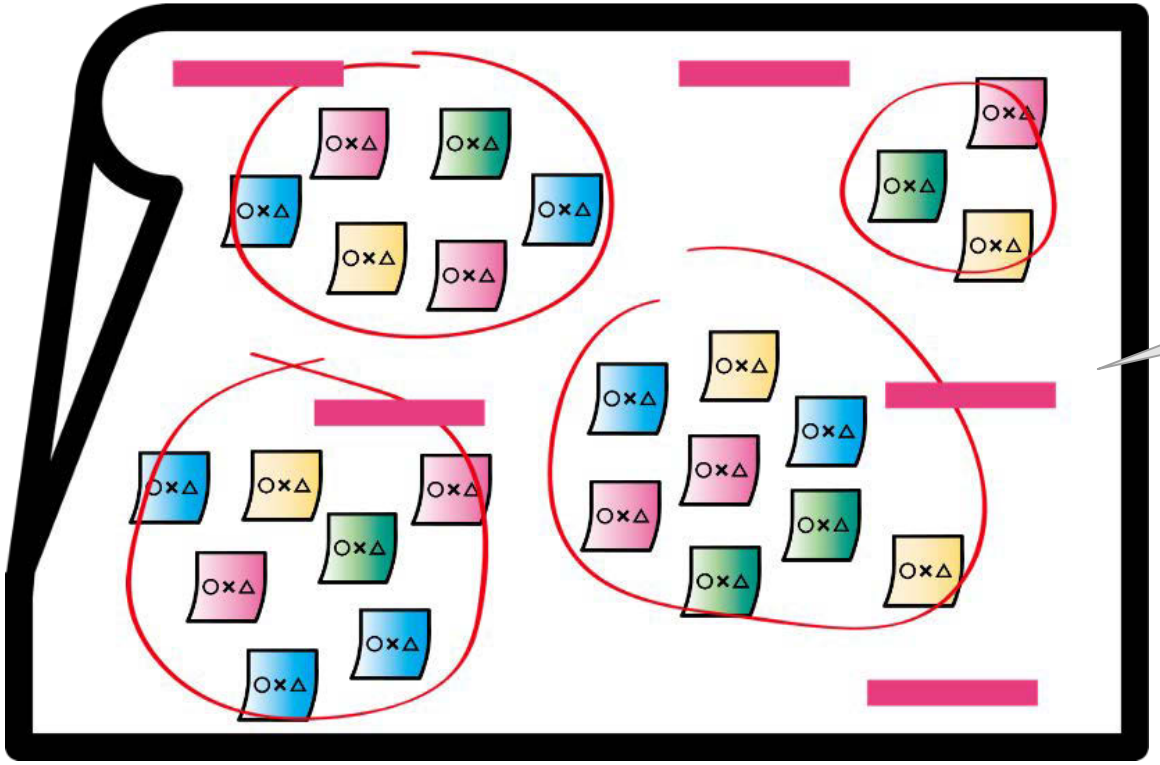
実行するためには（無限の時間と資源がない限りは）

「どのアイデアを実行するか」を選ばないとなりません。



アイデアの整理・分類

貼り出されたアイデアを整理していきます。



貼り出されたアイデアを
内容によって分類し、
それぞれの分類にタイトルをつけ
ていきましょう。

①同じものを重ねる

②似たものを近くに

③集まった塊にタイトルをつける

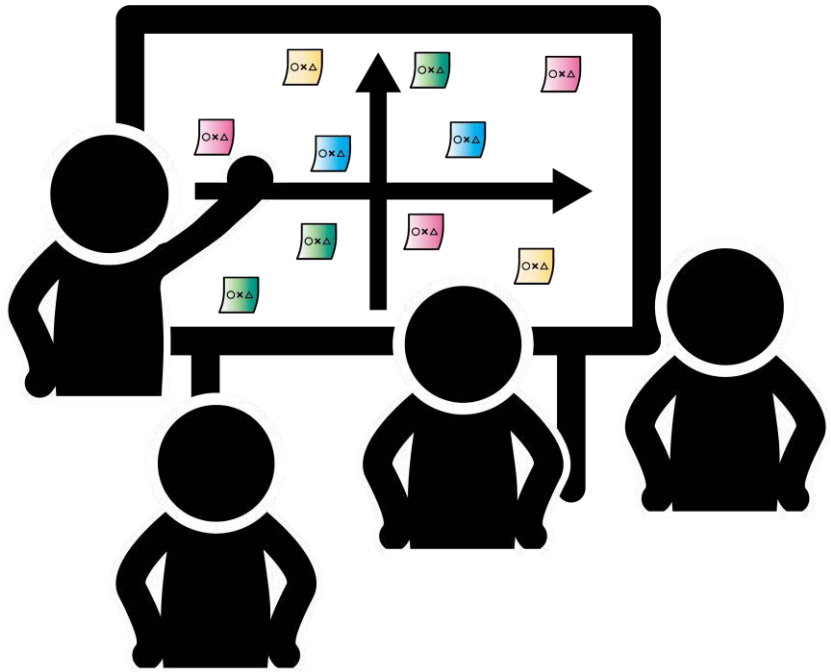
※厳密な分類方法ではルールが大切ですが、実際的にはこれくらいで充分機能します。

ペイオフマトリクス

軸を2つ設定してアイデアなどを絞っていく方法です。

以下の視点ごとに2票ずつ（合計6票／人）を投票していきます。

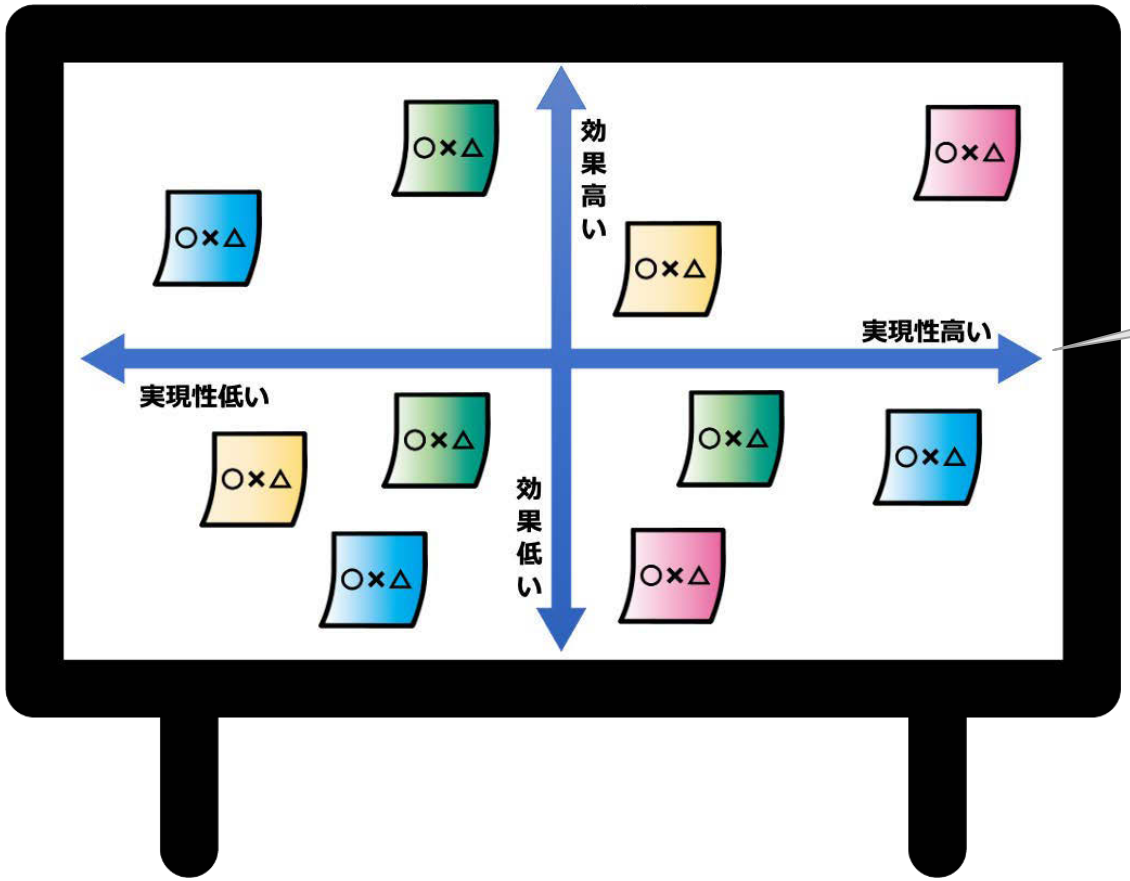
実効性（出来たとしたら効果が高い）　⇨ ○
実現性（できる可能性が高い）　⇨ ＃
好きだ・やりたい　⇨ ☆



※記号はグループ内で統一されていれば何でもよいです

ペイオフマトリクス

投票結果をもとにマトリクスに配置していきましょう！

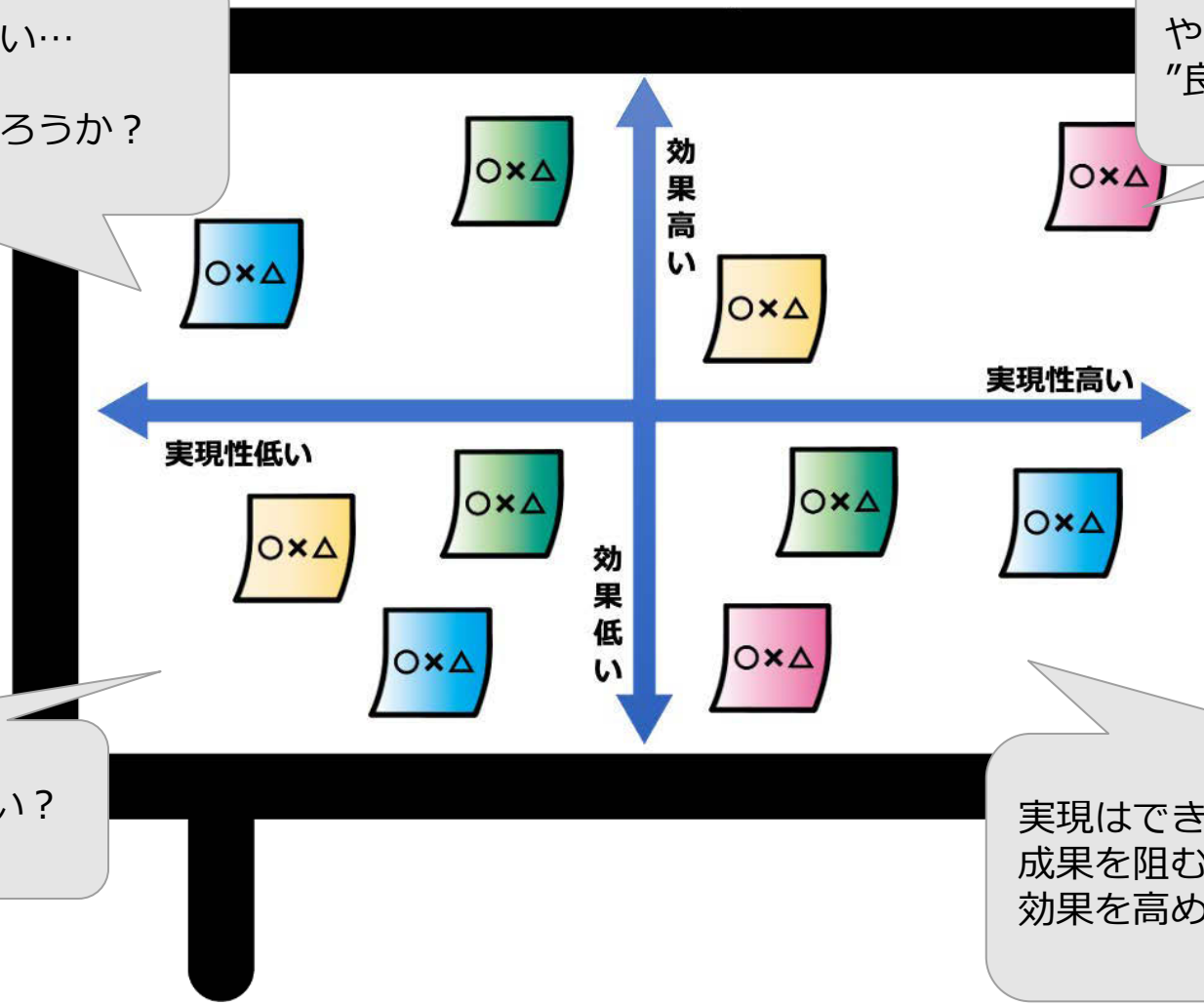


完全に1つに絞れなくて良い
この段階では
「アイデアを評価し整理できた」
ということが大切

配置後に考えること

効果は高いけど、実現が難しい…
細かいステップに分けるなど
実現性を上げる方法はあるだろうか？

やる価値があって、実現可能な
”良いアイデア”がありそうな領域



本当に捨ててしまってもよい？

実現はできそうだが、効果は低い
成果を阻むものを排除するなど
効果を高める方法は、あるだろうか？

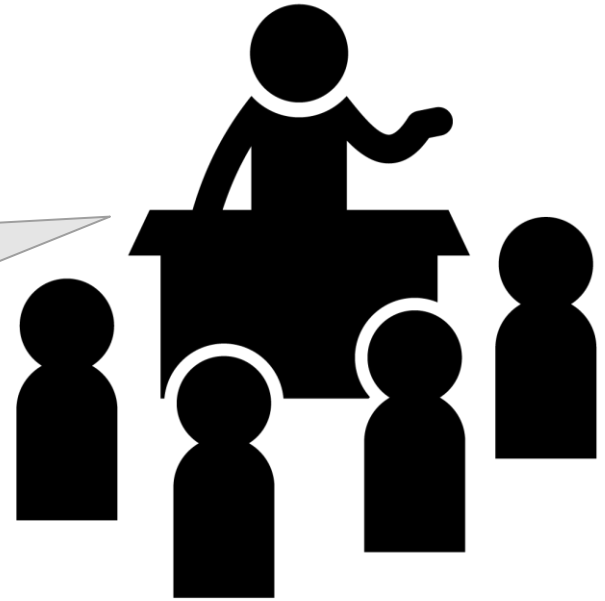
全体共有

他のグループへ、ここまで考えたことを発表してください。

他のグループ、および講師から質問をします。

最後に講師から、アドバイスをします。

他のグループの発見から
新しい視点を見つけてください。

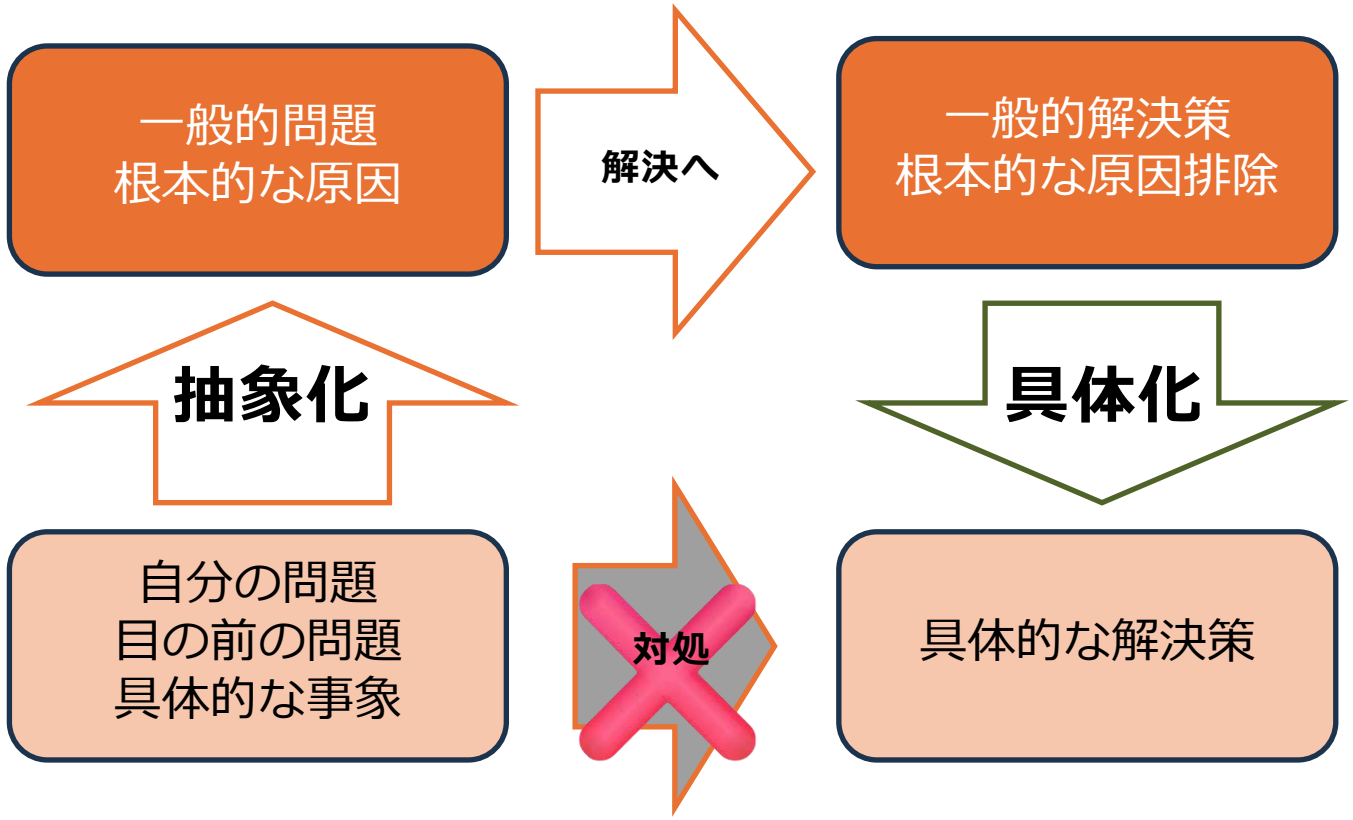


課題解決の基本プロセス①

課題解決の定義～問題の洗い出し

問題への”対処”と”解決”

目前の問題だけへの対処から、抽象化し視座を上げての課題解決へ



課題と問題

課題解決＝理想と現実のギャップを解消すること

問題＝現状の困りごと　→ 部屋が暗い

理想＝あるべき状態　→ 物が見える

原因＝問題を起こしている理由　→ 電球切れ

課題＝問題を解決する具体的行動方針　→ 新しい電球

解決策＝どうやって取り組むか

→ 買ってくる？借りてくる？もらう？

課題解決の基本プロセス

問題の発見	現状どのような問題があるか洗い出す
問題の選択	どの問題から取り組むかを選ぶ
問題の理解	現状や理想を整理し、その問題について理解する
課題設定	範囲や抽象度なども明確にし、課題を定義する
解決策の立案	解決策の可能性を探る（拡散思考）
解決策の選択	どの解決策を採用するかを選ぶ（収束思考）
実行と評価	実際に解決策を試し、有用性を確認する

今回のテーマについて

グループで1つの「課題解決チーム」となります。

このテーマの授業が終わるまで1つの問題に取り組みます。

本日のテーマ

現状の困りごと（学業でもプライベートでも学校の問題でも）

①どのような問題があるか洗い出していきます。

②その問題を分析し理解して、課題を設定します。

③その課題を解決する方法を考えます。

ブレインストーミング

アイデアを出すための最も一般的な方法です。

ブレインストーミングのルール

①質より量（思いついたら、どんどん書く）

②議論しない・否定しない（ダメなアイデアはない）

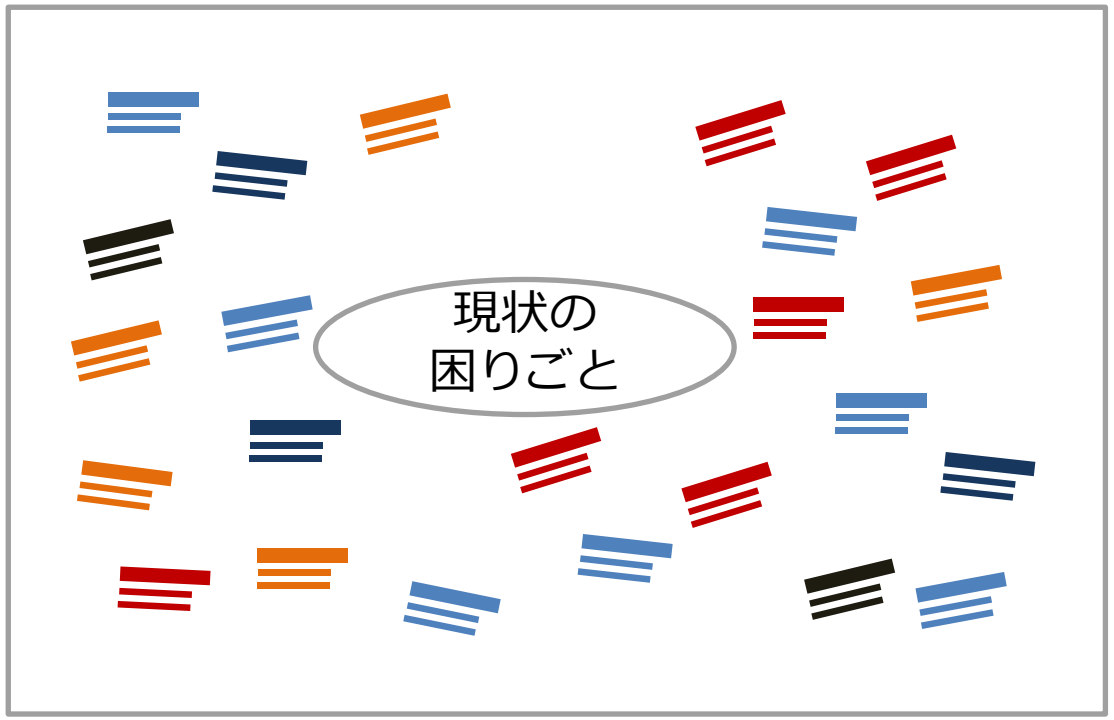
③書いたら言う・言ったら書く（全員ペンを持つ）

④便乗大歓迎（他の人のアイデアを活かす）



問題の洗い出し

ブレインストーミングで
現状の「困りごと」と感じるものを出してください。
不満・不足と感じるものであれば、何でもよいです。





課題解決の基本プロセス②

問題の選択～課題設定

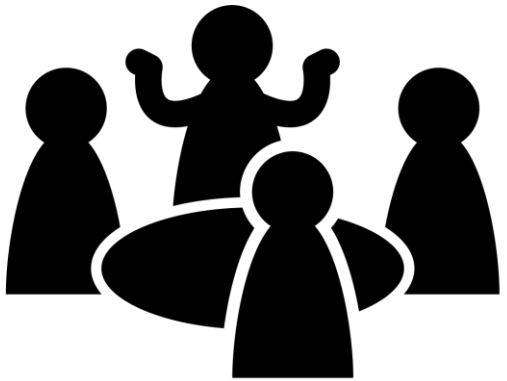
問題の選択

ブレインストーミングで出した問題のうち
どれについて考えるかを決めていきます（全体で1つに絞ります）。

まずは、グループで以下の視点ごとに2票ずつ（合計6票／人）
投票してみましょう。

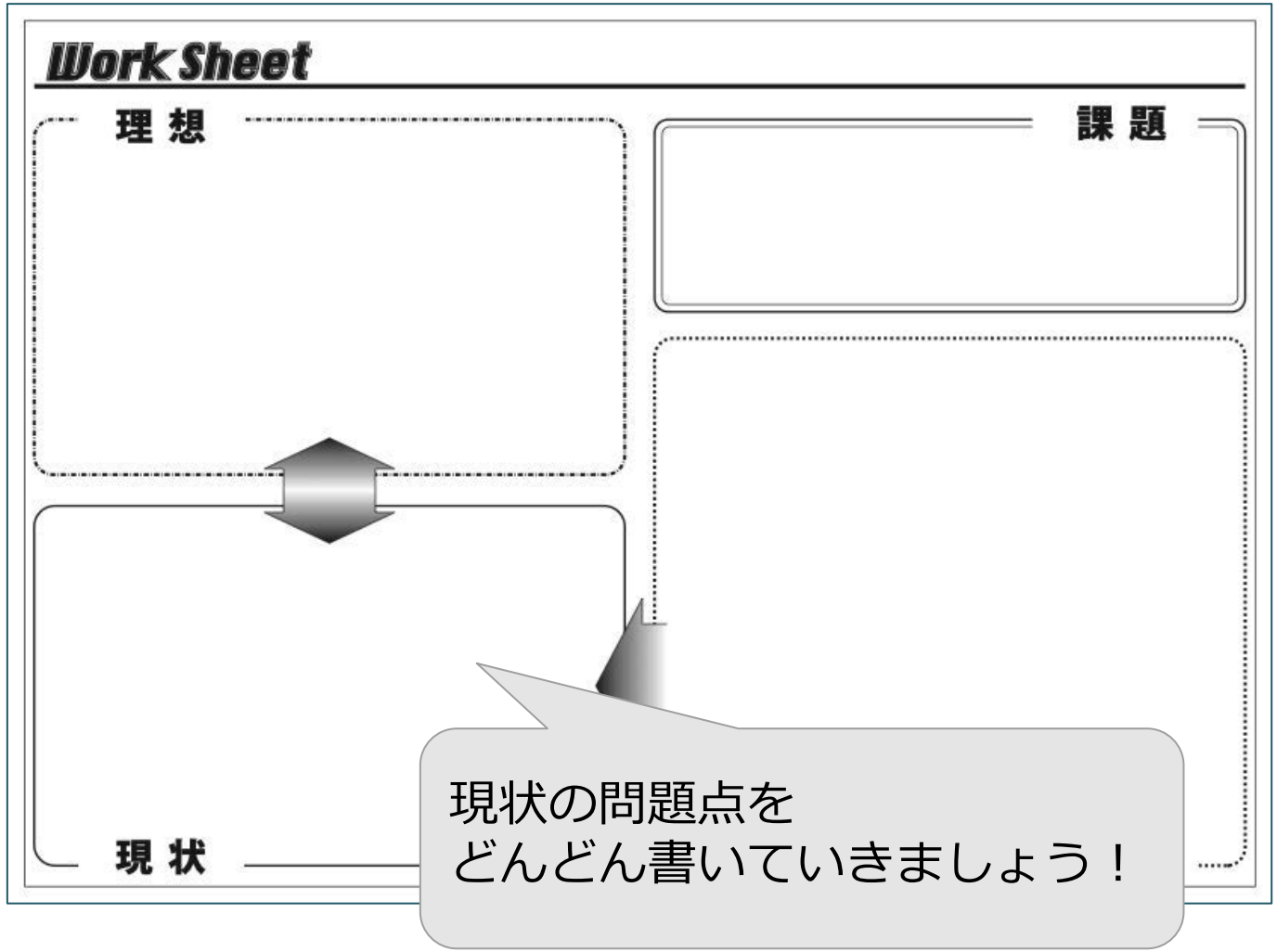
意義が大きいと思う　⇨ ○
解決できる見込みが高そう　⇨ ＃
興味がある　⇨ ☆

※記号はグループ内で統一されていれば何でもよいです。



問題の理解と課題設定

選んだ問題を整理して、課題設定していきます。

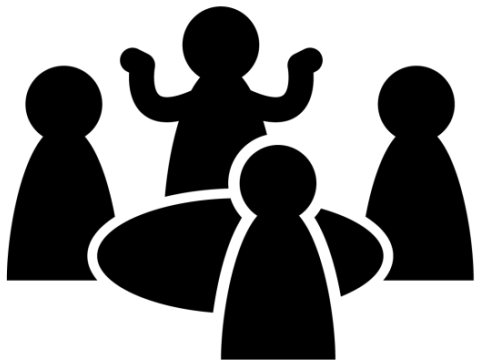


まとまっていなくて大丈夫

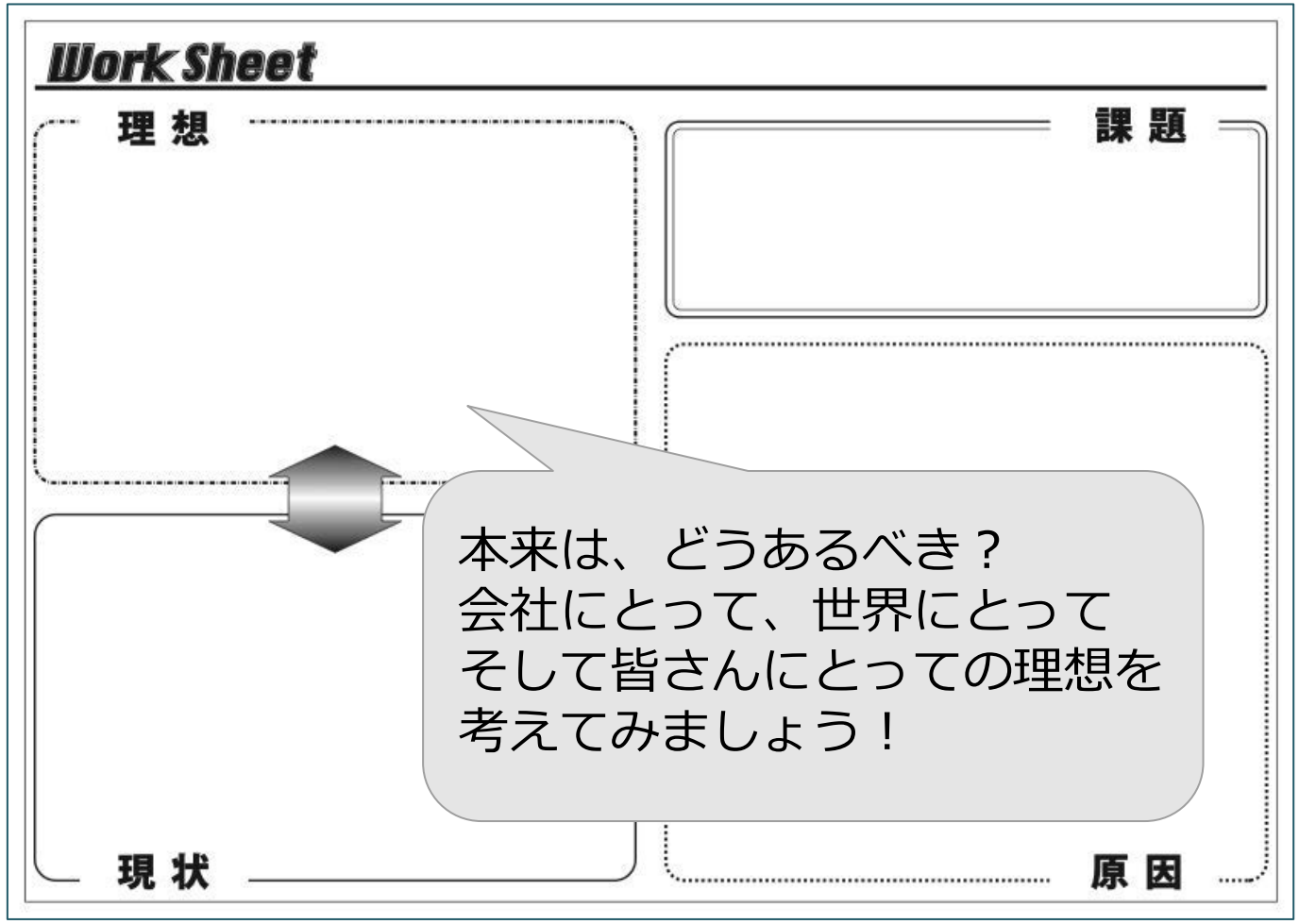
結論は必要なし

誰かの個人的な意見でもよし

話しているうちに
思いついたことも書きましょう！



問題の理解と課題設定



まとまっていなくて大丈夫

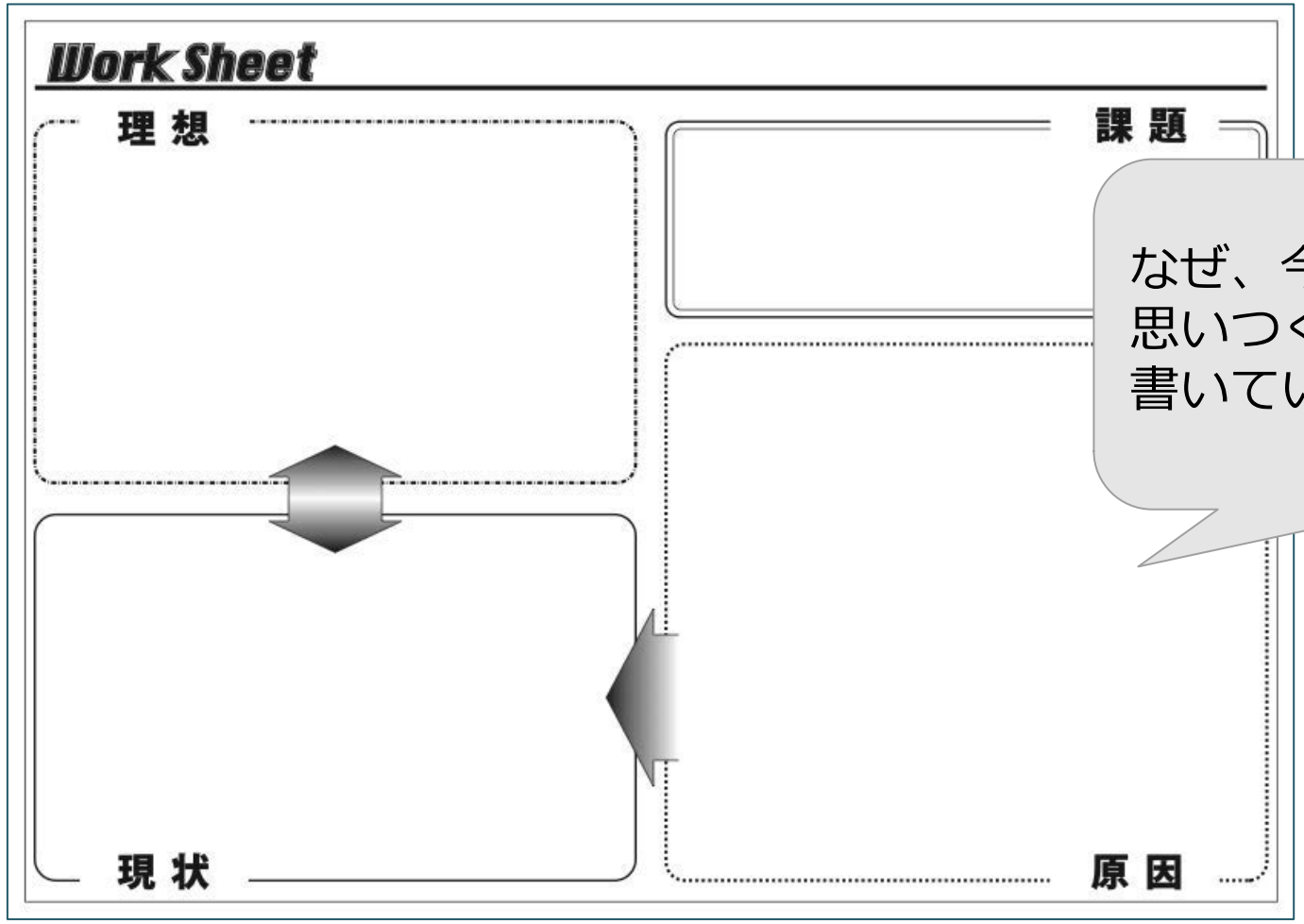
結論は必要なし

誰かの個人的な意見でもよし

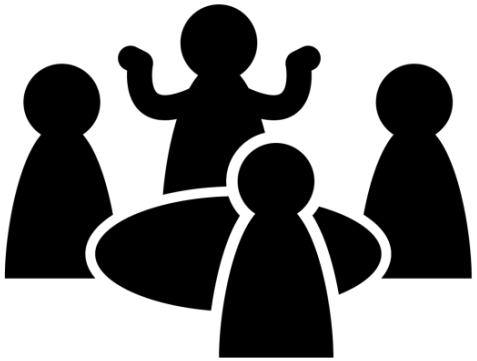
話しているうちに
思いついたことも書きましょう！



問題の理解と課題設定



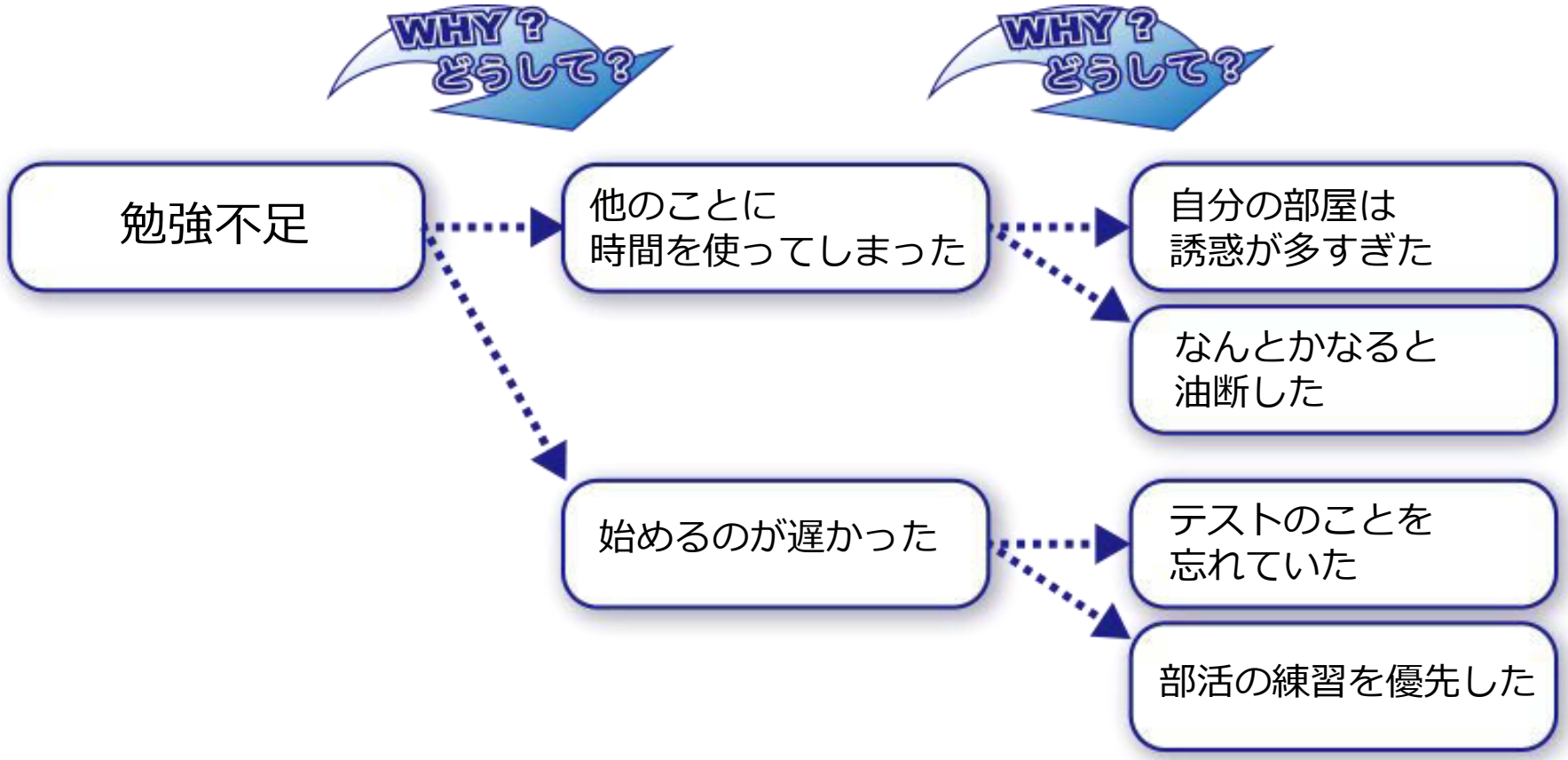
なぜ、今の現状なんだろう？
思いつく限りの原因を
書いていきましょう！



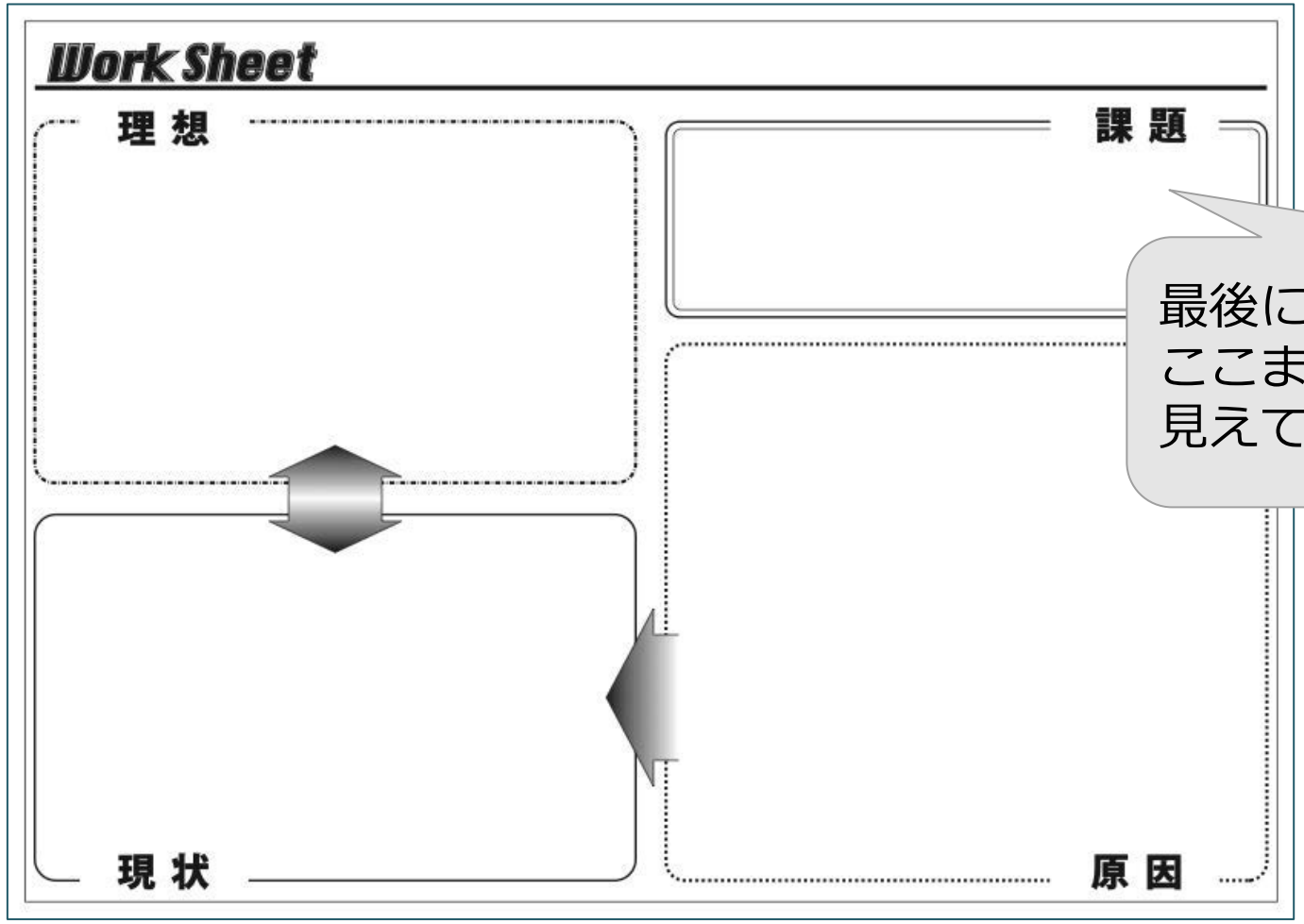
【補足】原因の原因

余裕があるグループは、原因のさらに原因も考えてみましょう！

例えば、「テストの点が悪かったのは、勉強不足だから」では終わらずに…



問題の理解と課題設定



最後に
ここまで考えたことで
見えて来た課題を書きましょう



課題＝問題を解消する具体的行動方針

課題の"大きさ"調整

いくつかの候補の「課題の大きさ」を調整してみて

ちょうど良いものは何か考えてみましょう。

例

世界の食糧問題の解決　→　大きすぎるな…
自分がフードロスを出さない　→　小さすぎるな…

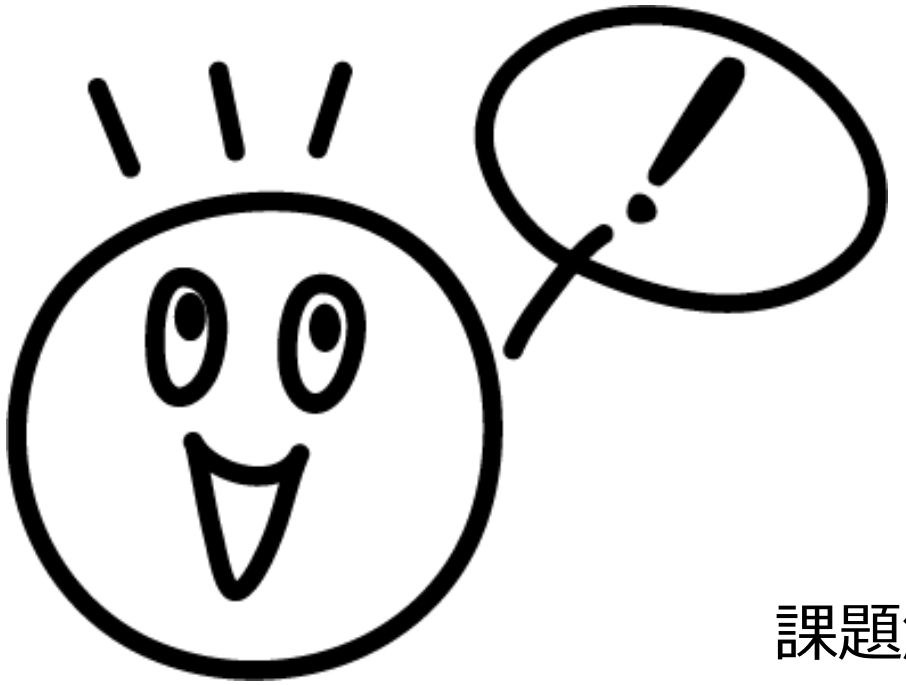
飲食店でフードロスを減らすための仕入れ量をサポート　→　ちょうど良さそう



課題解決の基本プロセス③

解決策の立案～解決策の選択

可能性の検討（拡散思考）



課題解決のためには良いアイデアが必要です。

良いアイデアを出すために誰でも出来ること

それは、アイデアをたくさん出すことです！

ブレインライティング

グループでたくさんのアイデアを書き出していく方法です。

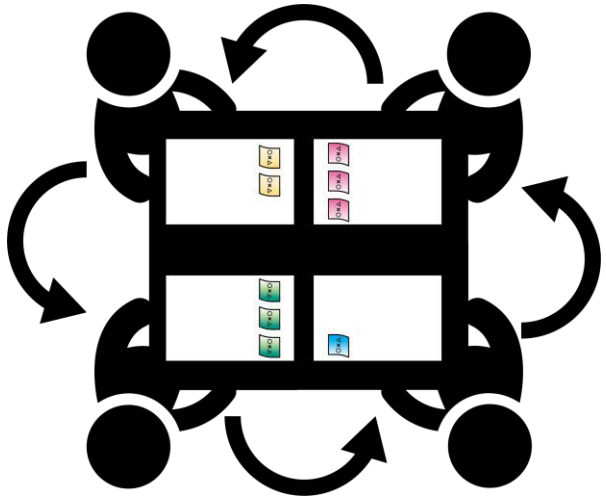
１．ブレインライティング台紙と付箋紙が配布されます。

２．テーマに沿ったアイデアを付箋紙に書き出し、書き終わった付箋紙を
ワークシートに貼り付けていきます。

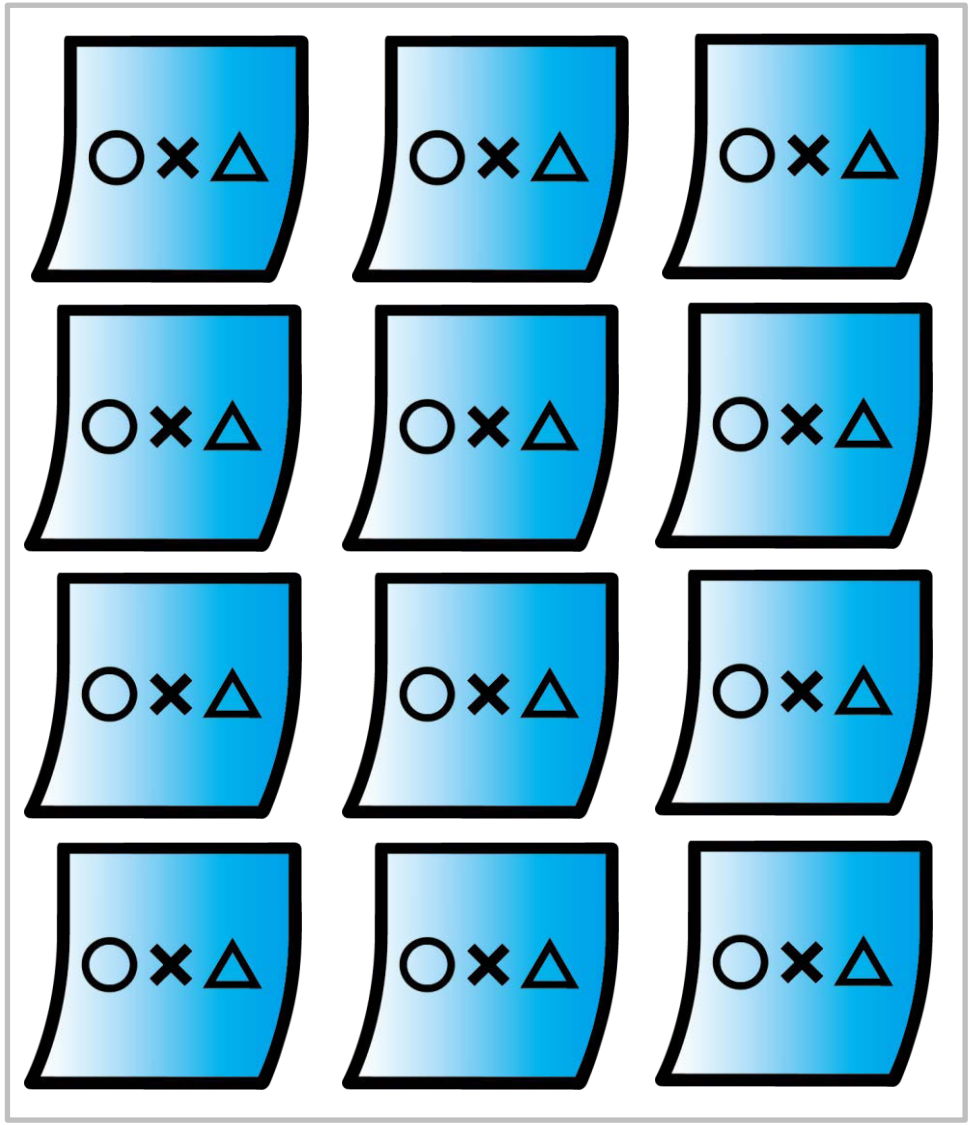
３．一定時間経過後、ワークシートを隣のメンバーに渡します。

４．隣から渡されたワークシートに貼られたアイデアを読む（参考にしてもしなくても良い）

→2・3・4を台紙が一巡する（または時間いっぱいまで）繰り返す



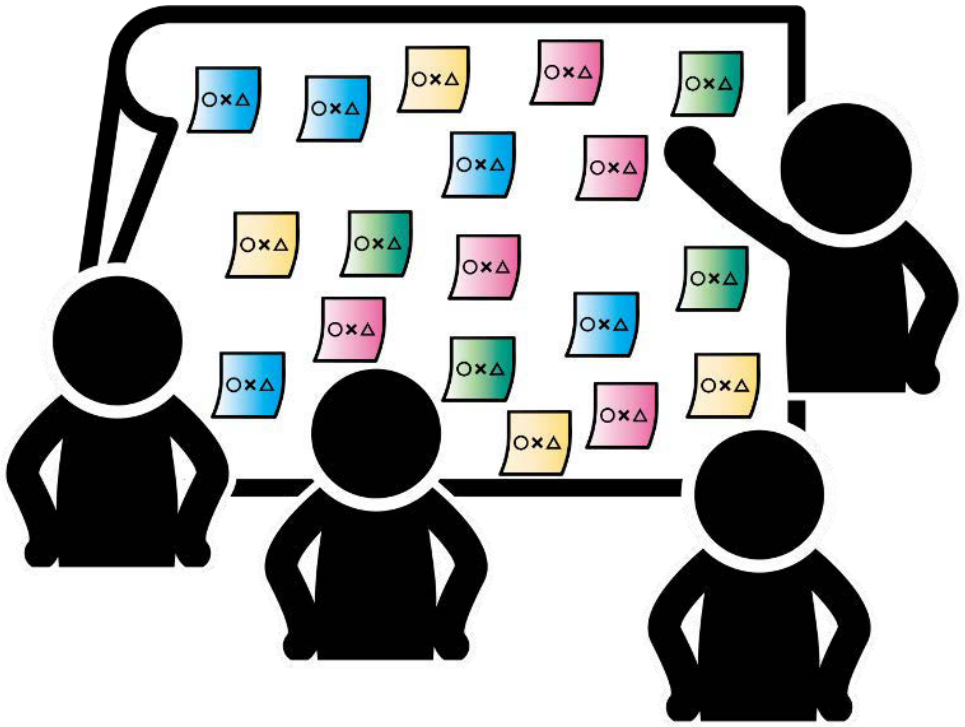
ブレインライティング



投影のみ

ブレインストーミングへ

出されたアイデアを貼り出していこう。



整理や分類は、今はしなくてよいです。
貼りながら思いついたアイデアが
あれば、足してください。

他の人のアイデアに質問があったら
その場で質問しましょう。

全体を眺めながら、
思いついたことを加えていってください。

他のアイデアを利用してもいいですし、
利用しなくても構いません。

アイデアの評価（収束思考）

アイデアを出すだけでは、解決にはなりません。

解決のためには、実行が必要です。

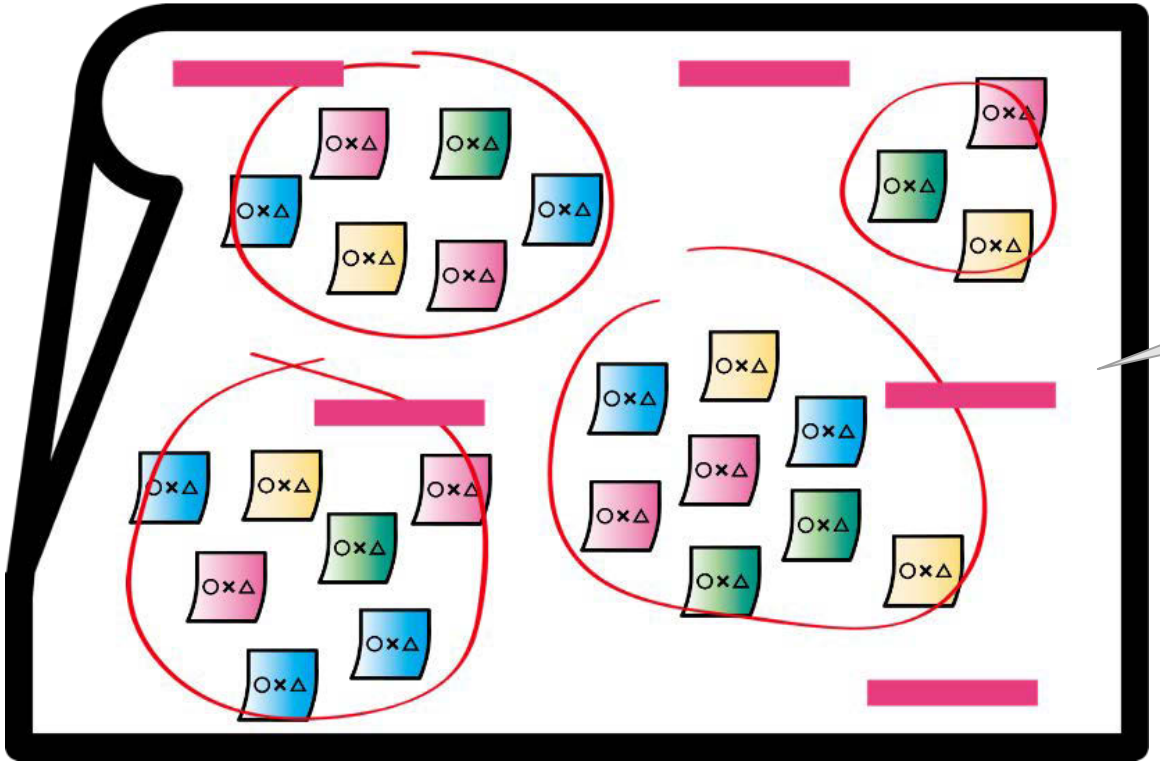
実行するためには（無限の時間と資源がない限りは）

「どのアイデアを実行するか」を選ばないとなりません。



アイデアの整理・分類

貼り出されたアイデアを整理していきます。



貼り出されたアイデアを
内容によって分類し、
それぞれの分類にタイトルをつけ
ていきましょう。

①同じものを重ねる

②似たものを近くに

③集まった塊にタイトルをつける

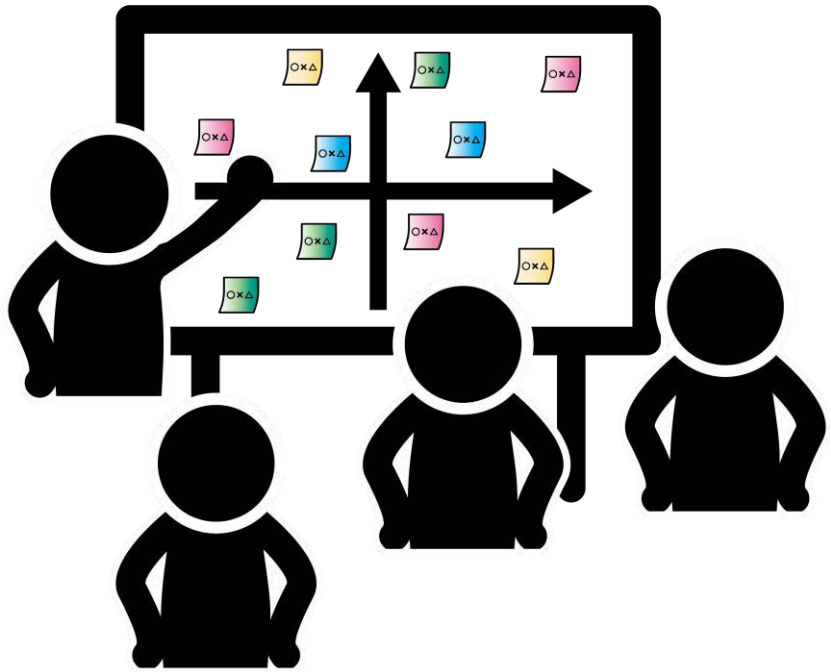
※厳密な分類方法ではルールが大切ですが、実際的にはこれくらいで充分機能します。

ペイオフマトリクス

軸を2つ設定してアイデアなどを絞っていく方法です。

以下の視点ごとに2票ずつ（合計6票／人）を投票していきます。

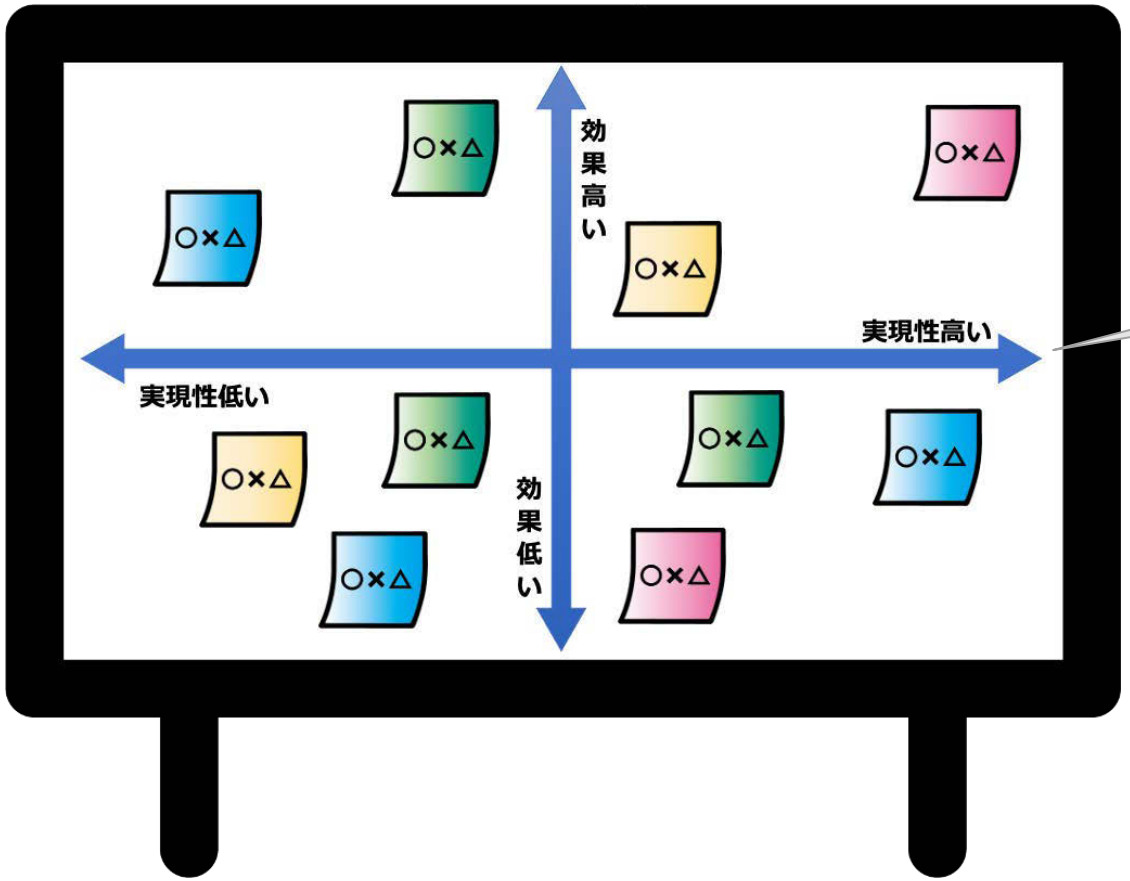
実効性（出来たとしたら効果が高い）　⇨ ○
実現性（できる可能性が高い）　⇨ ＃
好きだ・やりたい　⇨ ☆



※記号はグループ内で統一されていれば何でもよいです

ペイオフマトリクス

投票結果をもとにマトリクスに配置していきましょう！

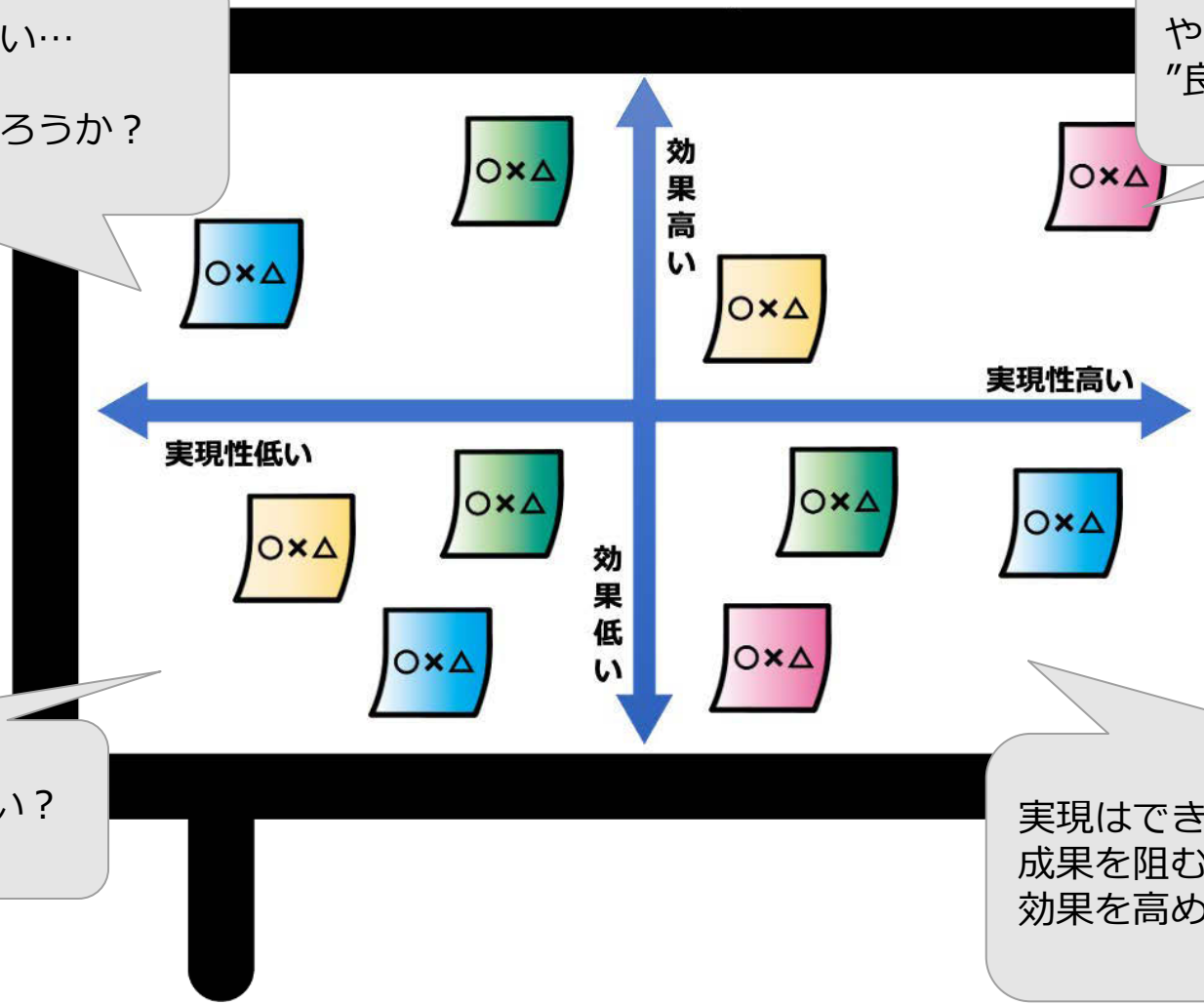


完全に1つに絞れなくて良い
この段階では
「アイデアを評価し整理できた」
ということが大切

配置後に考えること

効果は高いけど、実現が難しい…
細かいステップに分けるなど
実現性を上げる方法はあるだろうか？

やる価値があって、実現可能な
”良いアイデア”がありそうな領域



本当に捨ててしまってもよい？

実現はできそうだが、効果は低い
成果を阻むものを排除するなど
効果を高める方法は、あるだろうか？

全体共有

他のグループへ、ここまで考えたことを発表してください。

他のグループ、および講師から質問をします。

最後に講師から、アドバイスをします。

他のグループの発見から
新しい視点を見つけてください。

